IWAMIZAWA
消防年報
2020



40m級梯子車（令和元年12月 運用開始）

ま　え　が　き

この年報は、岩見沢地区消防事務組合の現況と消防業務に関する諸統計を集録し、今後の消防行政の参考に資するとともに当組合の消防事情を広く紹介するために編集したものです。

令和２年１０月

岩見沢地区消防事務組合

消　　防　　本　　部

２０２０・簡易統計

R2. 4. 1現在
R1.12.31現在

組合位置



北海道岩見沢市
8条東10丁目2番地47

東経141度46分
北緯43度12分

構成団体



岩　見　沢　市
月　形　町

人口・世帯数等



人　口
82，901 人
世　帯　数
43，032世帯
管 轄 面 積
631．42 ㎢

消防組織



組合議会議員　9人
管理者　岩見沢市長
副管理者　月形町長
監査委員　2人
公平委員　3人

当初予算



一　般　会　計　予　算
1，470，554千円

署所等



消 防 本 部	1
消　防　署	1
支　　署	3
出　張　所	3
分　遣　所	1

消防職員



条例定数	148人
現　　員	147人
平均年齢	
	38歳7ヶ月
平均勤続年数	
	18年3ヶ月

消防団員



条例定数	570人
現　　員	502人
平均年齢	
	44歳4ヶ月
平均勤続年数	
	13年7ヶ月

消防車両



ポンプ・水槽車	21台
積載車	26台
化学車	1台
救急車	6台
梯子車	1台
救助工作車	1台
その他	15台

消防水利



消 火 栓	1，008基
防火水槽	165基

危険物施設



危険物施設	492件
（内訳）	
貯蔵所	375件
取扱所	117件

火災件数等



火災件数	29件
うち	
建　物	17件
林　野	0件
車　両	2件
その他	10件

出火原因



1位 こんろ	7件
2位 たばこ、電気機器	
火入れ	各2件

火災による死傷者



死　者	1人
負傷者	3人

火災による損害見積額



損害見積額
38，132千円

焼損面積



床面積	422 （㎡）
表面積	105 （㎡）
林　野	0 （ａ）

救　急



出動件数	3，950件
搬送人員	3，611人

救急事故種別



急　　病	2，546件
一般負傷	488件
交通事故	199件
労働災害	38件
自損行為	33件
火　　災	25件
他	621件

救助



出動件数	87件
救出人員	44人

消防協力団体等



危険物安全協会	1
火防協会	1
防火委員会	1
・幼年消防クラブ	12
・少年消防クラブ	2
・女性防火クラブ	1

目　　次

総　務　編

組合の位置と地勢 ・・・・・・・・・・・・・・・ 1
消防本部・各署所外観 ・・・・・・・・・・・・ 2
組合を構成する団体の状況 ・・・・・・・・・ 3
組合消防のあゆみ ・・・・・・・・・・・・・・ 4
歴代役職者 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
消防表彰 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
消防組織 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
消防団組織 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
岩見沢地区消防事務組合議会議員名簿 ・・・ 19
消防職員の現況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 19
消防職員の勤続年数現況 ・・・・・・・・・・ 20
消防職員の年齢構成 ・・・・・・・・・・・・・ 20
消防職員の免許等取得状況 ・・・・・・・・・ 21
消防職員・団員の学校教育
　及び研修状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 22
消防職員・団員数の推移 ・・・・・・・・・・ 23
消防職員・団員１人当たりの面積・
　人口・世帯数 ・・・・・・・・・・・・・・・ 23
令和２年度当初予算 ・・・・・・・・・・・・ 24
令和２年度団体別当初予算 ・・・・・・・・ 24
いわみざわ消防フェア・
　旧消防フェスティバルの実施状況 ・・・・ 25

警　防　編

消防機械等及び消防水利の設置状況 ・・・・ 26
消防団の現況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
消防団員の年額報酬の現況 ・・・・・・・・・ 28
消防団員の費用弁償の現況 ・・・・・・・・・ 28

予　防　編

指定防火対象物査察実施状況 ・・・・・・・・ 29
指定防火対象物査察指導状況 ・・・・・・・・ 30
中高層建築物状況 ・・・・・・・・・・・・・・ 31
防火管理者選任及び消防計画届出状況 ・・・ 32
建築物同意事務状況 ・・・・・・・・・・・・・ 34
各種届出状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
消防協力団体 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
幼年・少年消防クラブ
　及び女性防火クラブ状況 ・・・・・・・・・ 36
岩見沢地区危険物安全協会
岩見沢市火防協会・岩見沢地区防火委員会
　設立趣旨及び事業内容 ・・・・・・・・・・ 37
火災等出動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 38
火災状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
時間別火災件数 ・・・・・・・・・・・・・・・ 39
曜日別火災件数 ・・・・・・・・・・・・・・・ 39
四季別火災件数 ・・・・・・・・・・・・・・・ 39
四季別損害額 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
月別火災発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・ 40
過去５年間の火災の推移 ・・・・・・・・・・ 42
過去５年間の出火原因の推移 ・・・・・・・・ 44
危険物製造所等設置状況 ・・・・・・・・・・ 45
危険物製造所等の許認可等状況 ・・・・・・・ 45
危険物関係各種届出状況 ・・・・・・・・・・ 46
住宅用火災警報器の普及状況 ・・・・・・・・ 47
住宅用火災警報器設置届出状況 ・・・・・・・ 47
避難行動要支援者に対する
　火災予防査察の実施状況 ・・・・・・・・・・ 47
事業所等での消防訓練等の実施状況 ・・・・・ 48
防火対象物定期点検及び
　防災管理点検の報告状況 ・・・・・・・・・・ 48

救急救助編

月別の救急出動状況 ・・・・・・・・・・・・・ 49
時間別救急出動件数 ・・・・・・・・・・・・・ 50
曜日別救急出動件数 ・・・・・・・・・・・・・ 50
事故種別救急出動割合 ・・・・・・・・・・・・ 50
出動場所別救急出動状況 ・・・・・・・・・・・ 51
過去５年間の救急出動推移 ・・・・・・・・・・ 51
傷病程度別の搬送人員状況 ・・・・・・・・・・ 52
年齢区分別の搬送人員状況 ・・・・・・・・・・ 52
救急隊員が行った応急処置件数 ・・・・・・・・ 53
急病にかかる疾病分類別搬送人員の状況 ・・・ 54
救助事故種別出動件数 ・・・・・・・・・・・・ 55
救助活動件数・救出人員数調 ・・・・・・・・・ 55
救急講習会の実施状況 ・・・・・・・・・・・・ 56

通　信　編

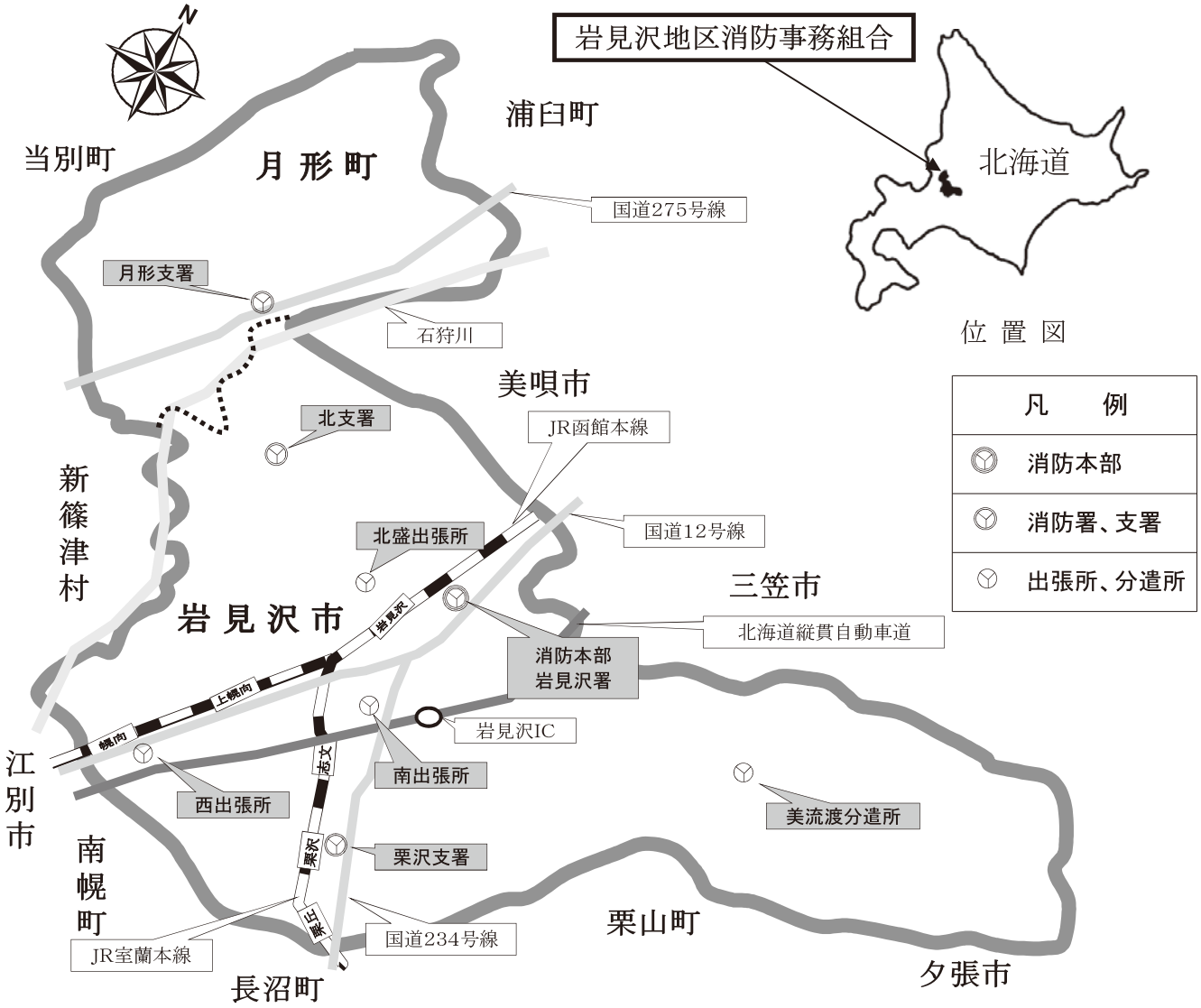
消防無線のデジタル化運用について ・・・・・ 57
メール１１９登録状況 ・・・・・・・・・・・・ 58
１１９番受報数の現況 ・・・・・・・・・・・・ 59
緊急通報システムの設置状況 ・・・・・・・・ 59
消防通信指令システム系統図 ・・・・・・・・ 60
緊急通報システム受信状況 ・・・・・・・・・・ 62

総　務　編

組合の位置と地勢

岩見沢地区消防事務組合は、昭和４７年４月１日に設立し、岩見沢市、栗沢町、月形町及び北村の１市２町１村で組織されました。その後、平成１８年３月２７日に栗沢町と北村が岩見沢市に編入合併され、現在は１市１町で構成されています。

本部の位置は、東経 １４１度 ４６分、北緯 ４３度 １２分、組合地形は、石狩平野に広がる緩傾斜地帯で、北は浦臼町、東は美唄市・三笠市、南は夕張市・栗山町に接し、周囲は広大な山地と美しい自然に恵まれています。



消防本部・各署所一覧

令和２年４月１日現在

名　　称	所在地	建物延面積（㎡）	土地面積（㎡）
消防本部・岩見沢消防署	8条東10丁目2番地47	4,455.08	6,600.60
北盛出張所	北本町西2丁目1番地	177.52	930.00
南出張所	南町8条4丁目5番11号	296.00	1,046.21
西出張所	中幌向町71番地7	321.78	2,580.80
美流渡分遣所	栗沢町美流渡栄町93番地2	616.80	1,043.63
栗沢支署	栗沢町東本町19番地	706.52	1,135.83
北支署	北村赤川586番地2	417.43	625.00
月形支署	月形町1047番地13	766.76	4,043.42

消防本部・各署所外観　　令和２年４月１日現在



消防本部・岩見沢消防署



北盛出張所



南出張所



西出張所



栗沢支署



北支署



美流渡分遣所



月形支署



旧消防本部・岩見沢署（平成29年9月閉鎖）
跡地：6条東1丁目4番地
建物延面積:1,753.50㎡, 土地面積:2,234.89㎡

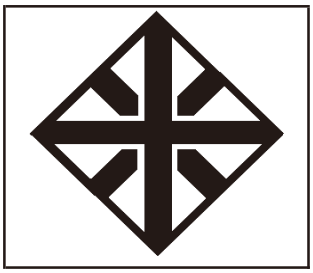


旧東出張所（平成29年9月閉鎖）
跡地：5条東15丁目
建物延面積:168.51㎡, 土地面積:1,320.65㎡

組合を構成する団体の状況

令和２年４月１日現在

市町村名	人　口（人）	世帯数（世帯）	面　積（㎢）	市　町　長　名
岩見沢市	79,821	41,410	481.02	市長　松野　哲
月　形　町	3,080	1,622	150.40	町長　上坂隆一
合　計	82,901	43,032	631.42	

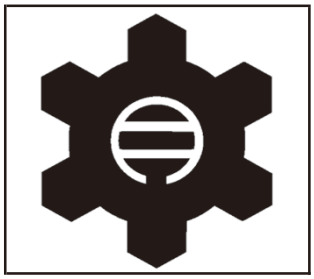


岩見沢市

明治１７年、岩見沢村として誕生。明治３９年には町制施行、昭和１８年には市に昇格。北海道の中心部に位置し、交通の要衝として発展した。

明治の初期、幌内煤田（炭鉱）開発のため札幌～幌内間の道路開削が始められ、工事に従事する者のための休泊所が設けられた。ここで浴（ゆあみ）をし疲れを癒したことから「浴澤（ゆあみさわ）」と称され、後に転化して「岩見澤（いわみざわ）」となったといわれている。

平成１８年３月２７日、市町村合併により栗沢町、北村が編入された。



月 形 町

明治１４年、北海道最初の監獄となる「樺戸集治監（かばとしゅうちかん）～後に樺戸監獄と改称」の設置により、北海道空知管内第１号の村として誕生。昭和２８年には町制が施行された。

「樺戸集治監」に収容された国事犯や凶悪犯たちは道路開削など道央開拓の任にあたるという特異な開拓の歴史を持つ。町名は、集治監の初代典獄である月形潔（つきがたきよし）の姓に由来する。

組合消防のあゆみ

昭和47年　4月　1日	岩見沢地区消防事務組合発足
	（岩見沢市、栗沢町、月形町、北村の広域消防体制）
	職員7人増員し、総員106人
5月11日	消防操法の基準制定
7月20日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備
8月　1日	北海道消防操法訓練大会 岩見沢消防団第10分団 小型動力ポンプ操法の部優勝
9月　5日	岩見沢署、消防ポンプ自動車寄贈（日本損害保険協会）
20日	消防本部、新庁舎竣工（延面積1,773㎡　工事費101,000千円）
26日	岩見沢署、連絡車配備
12月　4日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
7日	栗沢支署、水槽付消防ポンプ自動車配備
15日	北分遣所、庁舎竣工（延面積333.9㎡　工事費17,997千円）
昭和48年　1月21日	岩見沢市2条西3丁目繁華街で火災（焼損棟数、4棟6戸）
30日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
3月26日	岩見沢署、救急自動車寄贈（日本自動車工業会、3Ｂ型）
31日	栗沢支署、庁舎竣工（延面積634.39㎡　工事費33,082千円）
4月　1日	防火管理規程を制定
	職員12人増員し、総員118人
8月18日	岩見沢署、オルゴール寄贈（山田治夫氏）
11月12日	月形出張所、水槽付消防ポンプ自動車配備
22日	北海道消防協会会長に倉増新八郎団長就任
12月10日	北分遣所、水槽付消防ポンプ自動車配備
昭和49年　1月10日	日本消防協会副会長に倉増新八郎団長就任
30日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
4月　1日	職員3人増員し、総員121人
	予防事務規程を制定
	月形出張所が月形支署、北分遣所が北支署となる
7月　5日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
9日	岩見沢署、指揮車配備
12日	第26回北海道消防大会を岩見沢市で開催（岩見沢スポーツセンター）
20日	岩見沢市2条西3丁目繁華街で火災（焼損面積1,188㎡）
8月14日	岩見沢署、照明車配備
11月　1日	岩見沢署、当直隊長を消防司令とし、2人配備
12月24日	栗沢支署、消防ポンプ自動車配備
27日	月形支署、指揮車寄贈（元消防団長、福居氏）
28日	岩見沢署、北盛出張所開設（10人配備）
昭和50年　1月　1日	職員1人増員し、総員122人
3月　4日	岩見沢署、消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車配備
4月　1日	職員5人増員し、総員127人
5月28日	北支署、指揮車配備
8月23日	台風6号で集中豪雨により被害甚大
	（降水量、岩見沢地区199ｍｍ、栗沢地区180ｍｍ、月形地区　床上浸水212戸、
	床下浸水74戸、北地区　床上浸水432戸、床下浸水329戸、避難者1,032人）
9月11日	岩見沢署、広報車寄贈　栗沢支署、指揮車寄贈（空知信用金庫）
23日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
27日	北支署、救助用3人乗ボート寄贈（月形ライオンズクラブ）
28日	岩見沢署、大型水槽車配備
12月　5日	栗沢、月形、北支署消防無線電話機（超短波基地局）設置

昭和51年　1月16日	栗沢支署、美流渡分遣所庁舎竣工(延面積616.80㎡　工事費78,100千円)
2月14日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
4月　1日	全道の広域消防組合の数44組合184市町村に達する
7月15日	全国消防長会広報常任委員会を岩見沢万景閣で開催
～16日	(東京消防庁　村山茂直総監来岩)
8月21日	岩見沢署、救助艇寄贈(岩見沢ライオンズクラブ)
9月30日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備
11月29日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
12月　2日	栗沢支署、消防ポンプ自動車配備
昭和52年　9月25日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
11月15日	岩見沢消防80周年記念式典及び記念誌刊行
12月　7日	岩見沢署、救急自動車寄贈(日本損害保険協会、3Ｂ型)
昭和53年　4月　1日	岩見沢署、幌向分遣所開設
	職員2人増員し、総員129人
7月10日	北消防団､小型動力ポンプ2台配備
20日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ配備
9月　8日	岩見沢市夜間急病センター開所
20日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
22日	栗沢支署美流渡分遣所に消防無線電話機(超短波)設置
10月31日	月形支署、大型水槽車配備
12月28日	月形支署、救急自動車寄贈(日本損害保険協会、2Ｂ型)
昭和54年　8月　8日	北消防団、小型動力ポンプ配備
10月11日	岩見沢署、消防無線電話機(超短波共通波)設置
11月13日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
30日	栗沢支署、消防ポンプ自動車配備
昭和55年　6月　7日	岩見沢署、指導査察車寄贈(岩見沢ライオンズクラブ)
11月　4日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
12月19日	北支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
22日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
26日	栗沢支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
昭和56年　2月　2日	月形支署、無線式サイレン吹鳴装置設置(札比内)
2月11日	岩見沢消防団、日本消防協会表彰旗受章
4月　1日	職員4人増員し、総員133人
8月　3日	台風12号による集中豪雨、降水量423ｍｍ史上最高示す。
～4日	北村、岩見沢市幌向、栗沢町方面避難(避難者、岩見沢1,600余人)
9月17日	岩見沢署、消防無線電話機(超短波救急波)複信方式に変更
10月　1日	防火対象物にかかる防火基準適合表示、公表制度実施要綱を定める
12月　7日	岩見沢署、水槽付消防ポンプ自動車配備
17日	北支署、救助用6人乗ボート寄贈(ライオンズクラブ国際協会)
昭和57年　4月　1日	岩見沢署、南出張所開設(面積296.0㎡　工事費65,100千円)
	職員7人増員し、総員140人
6月　8日	岩見沢署、連絡車配備
8月　1日	岩見沢地区少年婦人防火委員会設立
18日	岩見沢署、水槽付消防ポンプ自動車配備
26日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
10月26日	栗沢支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
昭和58年　4月19日	岩見沢署、救助工作車寄贈(日本損害保険協会)
7月16日	北消防団、小型動力ポンプ配備

29日	北海道消防操法訓練大会で栗沢消防団が小型ポンプ操法の部で優勝
10月18日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
11月24日	岩見沢署、救急自動車配備(3Ｂ型)
26日	岩見沢署、南出張所に救急自動車配備
昭和59年 2月17日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
4月 1日	職員3人(岩見沢署)増員し、総員143人
9月21日	岩見沢署、広報車寄贈(日本消防協会)
22日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
昭和60年 4月18日	北支署、ホース乾燥塔新設
30日	ボート転覆事故(岩見沢大正池)高校生4人死亡
8月30日	栗沢支署、指揮車配備
10月17日	北支署、消防庁舎物品庫増築(増築面積21.29㎡　工事費2,480千円)
29日	栗沢支署、サイレン吹鳴無線制御装置設置
12月14日	北消防団第2分団機械器具置場新築(面積39.60㎡　工事費4,450千円)
24日	岩見沢消防団第17分団機械器具置場兼団員詰所新築 (面積215.30㎡　工事費24,100千円)
昭和61年 4月30日	水難事故(幾春別川)幼女1人不明
6月 5日	岩見沢署、レスキューツール配備
10月 8日	岩見沢署、水槽付消防ポンプ自動車配備
15日	岩見沢署、テレホンガイド装置設置(TEL24－0119)
25日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
12月30日	岩見沢署、総合指令台設置
昭和62年 1月 1日	岩見沢署、消防情報地図検索装置設置
8月21日	全国消防救助技術大会(千葉市) 岩見沢署　竹本消防士、はしご登はんに出場し入賞
29日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
9月 7日	月形支署、消防ポンプ自動車配備
10月28日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
11月26日	岩見沢署、指揮車配備
12月 1日	北消防団第4分団機械器具置場新築(面積39.60㎡　工事費6,000千円)
23日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
昭和63年 2月 9日	岩見沢署、救助資機材配備
24日	電話集中監視システム設置
3月30日	組合管内無線中継所設置
4月 1日	職員2人(栗沢支署1人、北支署1人)増員し、総員145人
6月15日	栗沢支署、救急自動車配備(2Ｂ型)
17日	月形支署、指令車配備
9月12日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
25日	岩見沢署、救急自動車配備(2Ｂ型)
28日	岩見沢署、救助資機材配備
	北支署、庁舎増改築(事務室23.04㎡　工事費10,450千円)
	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
29日	北消防団第3分団機械器具置場新築(面積37.44㎡　工事費6,380千円)
	北消防団第5分団機械器具置場新築(面積37.44㎡　工事費6,470千円)
11月 7日	栗沢支署、水槽付消防ポンプ自動車配備
26日	岩見沢署、化学消防ポンプ自動車配備
12月24日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成元年 5月25日	全国消防長会広報防災委員会常任委員会及び第18回広報委員会を岩見沢観光ホテルで開催(自治省消防庁福沢洋治理事官 外46人来岩)

6月19日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
8月25日	全国消防救助技術大会(名古屋市)
	岩見沢署　館・平野消防士長、ロープ応用登はんに出場し入賞
9月　8日	北消防団第6分団機械器具置場新築(面積37.44㎡　工事費7,982千円)
10月　7日	岩見沢署、無停電電源装置設置
24日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備
30日	岩見沢署、車庫排気ガス排出装置設置
31日	北支署、車庫改築
11月27日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
12月　4日	上幌向コミュニティー消防センター新築
	(面積79.49㎡　工事費10,351千円)
14日	月形支署、庁舎建設用地購入
16日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成　2年　2月　3日	北支署、水槽付消防ポンプ自動車配備
3月10日	岩見沢消防署西出張所開設(面積277.60㎡　工事費86,664千円)
29日	栗沢支署、サイレン遠隔制御受信機設置
5月30日	栗沢支署、美流渡分遣所・万字分遣所サイレン設置
10月　8日	北支署、2階会議室改築
29日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
30日	月形支署、広報用放送設備、消防・救急指令装置、モーターサイレン設置
11月14日	月形支署、庁舎新築開設(面積766.76㎡　工事費200,442千円)
30日	岩見沢消防団第14分団機械器具置場新築(面積39.74㎡　工事費5,459千円)
	岩見沢消防団第4分団サイレン塔設置
平成　3年　3月14日	岩見沢署、車庫増築(面積66.47㎡　工事費18,725千円)
20日	岩見沢署、車庫2棟新築(6東1　45.00㎡　6東4　50.00㎡　工事費22,570千円)
4月　1日	職員3人(栗沢支署2人、月形支署1人)増員し、総員148人
6月　7日	上幌向婦人防火クラブに日本消防協会より防火広報車寄贈
7月26日	北海道消防操法訓練大会(消防学校)岩見沢消防団ポンプ車操法の部準優勝
11月　5日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
22日	月形支署、水槽付消防ポンプ自動車配備
12月20日	岩見沢署、はしご付消防自動車配備
平成　4年　3月　4日	岩見沢消防団、消防庁長官表彰竿頭綬受章
5月28日	岩見沢地区危険物安全協会20周年記念式典(平安閣)
7月　7日	組合設立20周年記念演習(9条東みなみ公園)、式典(岩見沢ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ)
21日	月形支署、折りたたみ式アルミボード配備
8月28日	全国消防救助技術大会(千葉市)
	岩見沢署　竹本消防士長･藤原消防士、ロープ応用登はんに出場し入賞
9月30日	岩見沢消防団第15分団機械器具置場改修
10月30日	岩見沢消防団第4分団待機室改修
12月　3日	岩見沢署、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成　5年　1月18日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
31日	北盛・南出張所自動車排気ガス排出装置設置
3月22日	東出張所、自動車排気ガス排出装置設置
4月　1日	岩見沢消防団女性消防団員入団式(10人)
7月　2日	北支署、救助艇及びボートトレーラー配備
8月23日	月形支署、日本赤十字社月形分区より救急自動車貸与
10月　8日	消防行政管理者研修(ＪＩＣＡ研修員　8人)視察来庁
18日	栗沢消防団、消防ポンプ自動車配備
28日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備

11月15日	稔町コミュニティー消防センター新築(面積91.09㎡　工事費17,000千円)
平成 6年 2月15日	岩見沢署、消防指令装置設置
18日	岩見沢署、指導査察車寄贈(岩見沢ロータリークラブ)
8月12日	西川町コミュニティー消防センター新築(面積91.09㎡　工事費18,150千円)
	サイレン吹鳴無線制御装置設置
25日	全国消防救助技術大会(京都市)
	岩見沢署　竹本消防士長・藤原消防士、ロープ応用登はんに出場し入賞
9月18日	栗沢支署、消防無線電話機(超短波基地局)設置
27日	月形消防団第2分団詰所改築(156㎡の内63.5㎡改築　工事費7,745千円)
10月14日	消防行政管理者研修(ＪＩＣＡ研修員　8人)視察来庁
平成 7年 2月 3日	岩見沢署、水槽付消防ポンプ自動車配備
22日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
3月24日	月形支署、月形消防団緊急伝達システム設置
4月 2日	栗沢消防団女性消防団員入団式(11人)
9月 6日	女性消防団員空知地方支部ブロック大会(北村)　194人
11日	岩見沢署、救急自動車寄贈(北海道共済農業協同組合連合会)
11月 8日	消防行政管理者研修(ＪＩＣＡ研修員　8人)視察来庁
30日	北支署、消防無線電話機(超短波基地局)設置
平成 8年 7月25日	北海道消防操法訓練大会、北消防団小型ポンプ操法の部　準優勝
8月 1日	月形消防団女性消防団員入団式(5人)
9月30日	北消防団第6分団第1班機械器具置場新築
	サイレン吹鳴無線制御装置設置(面積736㎡　工事費12,368千円)
10月 8日	第23回全道消防職員意見発表大会道央地区予選会(岩見沢市)
12月20日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成 9年 7月 6日	岩見沢消防公設100年記念行事　記念式典及び記念誌刊行
7月 6日	岩見沢消防記念碑移設(消防庁舎横)
29～30 日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(札幌市)
9月26日	北支署、無線統制装置整備
10月31日	栗沢支署、防火水槽整備(栗沢工業団地、ひばりが丘団地)
12月25日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成10年 5月20日	岩見沢消防団、積載車配備
28～29 日	全国消防長会広報防災委員会(岩見沢市)
8月 7日	栗沢支署、消防指令車配備
9月 6日	月形消防公設100周年　記念式典・消防演習
11月 9日	岩見沢署、救急自動車配備
12月25日	北支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成11年 3月 5日	栗沢消防団、中谷団長消防庁長官表彰功労章受章(東京都)
4月10日	北支署、地図検索情報システム導入
6月27日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
8月 5日	岩見沢署、庁舎無線塔改修工事
9月13日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
27日	月形支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成12年 2月 9日	栗沢消防団、日本消防協会表彰旗受章
	月形消防団、日本消防協会竿頭綬受章
3月 8日	月形消防団、丸山団長消防庁長官表彰功労章受章(東京都)
	岩見沢地区消防事務組合消防本部・岩見沢消防団、消防庁長官表彰旗受章
4月20日 ～27日	広域応援隊派遣(有珠山)
7月27日	北海道消防操法訓練大会、栗沢消防団小型ポンプ操法の部で優勝

9月13日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
18日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
25日	月形支署、通信指令卓整備
10月19日	全国消防操法訓練大会、栗沢消防団出場(神奈川県横浜市)
30日	栗沢支署、救急車寄贈(ＪＡ共済連)
12月 7日	栗沢支署消防庁舎増改築工事
12月10日	ＪＲ岩見沢駅舎　全焼
平成13年 2月27日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
3月 8日	月形消防団、消防庁長官表彰竿頭綬受章
8月23日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
9月10日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
10月13日	消防本部・岩見沢署、庁舎屋上防水工事
12月17日	栗沢支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
21日	月形消防団、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成14年 1月21日	岩見沢署、北盛出張所に水槽付消防ポンプ自動車配備
6月29日	岩見沢地区消防事務組合設立30周年記念演習(市役所駐車場)
8月21日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備
30日	北支署、指揮車配備
9月 1日	公設栗沢消防団100周年記念事業（式典・消防演習）
11月 8日	消防本部・岩見沢署、消防庁舎屋上防水改修工事
12日	美流渡分遣所庁舎耐震改修工事
平成15年 7月24日	北海道消防操法訓練大会、月形消防団ポンプ車操法の部で優勝
9月24日	岩見沢署、南出張所救急車配備（寄贈ＪＡ共済連）
10月23日	全国消防長会広報防災委員会常任委員会（岩見沢市）
平成16年 1月30日	岩見沢署、救助工作車Ⅱ型配備
2月24日	月形支署、広報車配備
3月18日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
12月10日	岩見沢署、南出張所に水槽付消防ポンプ自動車配備
平成17年 2月10日	北消防団、日本消防協会表彰旗受章
3月 4日	北消防団、外崎団長消防庁長官表彰功労章受章（東京都）
	栗沢消防団、消防庁長官表彰竿頭綬受章
8月25日	全国消防救助技術大会(さいたま市)
	岩見沢署　荒井消防士、ロープ登はんに出場し入賞
	月形支署　辻･稲井消防士長、ロープ応用登はんに出場
8月29日	岩見沢署、照明搬送車配備
10月 3日	月形支署、救急自動車配備（寄贈ＪＡ共済連）
10月21日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
11月16日	栗沢支署、消防ポンプ自動車配備
平成18年 3月 2日	北消防団、消防庁長官表彰竿頭綬受章
3月27日	市町村合併（栗沢町及び北村が岩見沢市に編入）により組合の構成団体が岩見沢市、月形町の１市１町となる
11月29日	栗沢支署美流渡分遣所、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成19年 1月26日	岩見沢署南出張所、消防ポンプ自動車配備
10月26日	岩見沢署東出張所、消防ポンプ自動車配備
12月26日	岩見沢署、救急自動車配備
平成20年 1月 5日	月形消防公設110周年記念消防出初式
4月 1日	岩見沢消防団に栗沢消防団と北消防団が統合
7月 5日 ～11日	北海道洞爺湖サミット（7月7日～9日）開催にあたり、消防特別警戒のため人員及び車両等派遣

8月31日	月形消防公設110周年記念消防演習
11月21日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
11月27日	岩見沢署、災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅲ型配備
平成21年 2月13日	月形消防団、日本消防協会表彰旗受章
3月 6日	月形消防団、消防庁長官表彰旗受章
3月27日	岩見沢市水防団（北村地区、栗沢地区）廃止に伴い、岩見沢消防団の水防活動管轄区域が岩見沢市全域となる
4月 1日	岩見沢地区消防事務組合消防団協力事業所表示制度実施
7月23日	北海道消防操法訓練大会、岩見沢消防団小型ポンプ操法の部で優勝
8月20日	全国消防救助技術大会（横浜市） 岩見沢署　成田・吉田（光）消防士、ロープ応用登はんに出場し入賞
9月 1日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
12月 9日	栗沢支署、水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型配備
平成22年 3月15日	岩見沢署、緊急通信指令装置設置
3月30日	月形消防団、消防ポンプ自動車配備
6月 1日	岩見沢署、救助艇配備
9月22日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
9月25日	岩見沢署、指揮車配備　岩見沢署北盛出張所、消防ポンプ自動車配備
10月25日	岩見沢署、救急自動車配備（寄贈ＪＡ共済連）
平成23年 3月16日 ～21日	東日本大震災発生（3月11日）に伴い、宮城県石巻市に緊急消防援助隊（第二次派遣隊　救助隊）として人員及び車両等派遣
4月 1日 ～ 7日	上記震災に対し、宮城県石巻市に緊急消防援助隊（第七次派遣隊　救助隊）として人員及び車両等派遣
4月 1日	岩見沢消防団、女性分団発足
9月 8日	消防長 高橋広、救急功労者表彰受賞（東京都）
11月 8日	災害発生時における災害関連機関と月形町の情報共有に関する協定調印
11月12日	岩見沢署、東出張所に水槽付消防ポンプ自動車配備
平成24年 3月28日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備
6月20日	ＩＦＣＡＡ国際消防救助隊合同訓練（札幌市）
～22日	緊急消防援助隊北海道合同訓練(札幌市)
9月 9日 ～12日	局地的な大雨により南利根別川が氾濫。南町・大和地区を中心とした市内全域各所で道路冠水や住宅浸水等の被害。 （住宅被害：床上浸水7棟、床下浸水85棟　　冠水被害：158.9ha）
9月26日	岩見沢署、資機材搬送車配備
10月 1日	岩見沢、月形119番通信業務一元化
11月14日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成25年 2月28日	月形支署、水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（ＣＡＦＳ）配備
10月 3日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車1台配備
10月 5日	岩見沢市安全安心防災合同パレード
10月11日 ～12日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(苫小牧市)
11月25日	消防団120年・自治体消防65周年記念大会（東京都）
平成26年 2月 4日	岩見沢署、指導査察車配備
2月12日	北支署、水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（ＣＡＦＳ）配備
10月29日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車1台配備
10月30日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車1台配備
11月27日	岩見沢署、人員搬送車配備
平成27年 9月30日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車1台配備
10月22日	岩見沢署西出張所、救急自動車配備（寄贈ＪＡ共済連）

10月28日 ～29日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(岩手県)
11月13日 ～14日	第５回　緊急消防援助隊全国合同訓練(千葉県)
12月11日	岩見沢署栗沢支署、救急自動車配備
平成28年　4月　1日	消防救急デジタル無線運用開始
9月29日	岩見沢署南出張所、救急自動車配備
11月25日	月形支署、消防団サイレン遠隔制御装置設置
12月　1日	岩見沢署西出張所、車庫新築(面積44.18㎡　工事費13,472千円)
平成29年　7月31日	消防本部・岩見沢署、新消防庁舎竣工(面積4,455.08㎡　工事費2,317,075千円)
9月　4日	岩見沢署、救急自動車配備
9月　5日	消防本部・岩見沢署、新消防庁舎運用開始
9月　5日	高機能消防指令センター運用開始
9月　5日	岩見沢署東出張所、閉鎖(平成30年度　解体)
10月16日	岩見沢地区消防事務組合新消防庁舎開所式開催
12月15日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成30年　1月　5日	月形消防公設120周年記念消防出初式
2月28日	岩見沢署、救助資機材整備
9月　2日	月形消防公設120周年記念消防演習
9月　6日 ～　8日	北海道胆振東部地震発生に伴い、厚真町に北海道広域消防相互応援協定にかかる応援隊(道央ブロック第一次派遣隊 後方支援隊)として人員及び車両等派遣
11月　9日	岩見沢消防団第21分団器具置場新築移設工事(面積42.02㎡　工事費7,182千円)
11月27日	岩見沢消防団、消防ポンプ自動車1台配備
平成31年　1月23日	西出張所、水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（ＣＡＦＳ）配備
3月18日	岩見沢消防団、消防ポンプ自動車1台配備（無償貸付 総務省消防庁）
4月19日 ～20日	夕張市石炭博物館火災発生（4月18日）に伴い、 夕張市に北海道広域消防相互応援協定にかかる応援隊（第一次派遣隊）として人員及び車両等派遣 上記火災に対し、4月22日～5月5日の間（第二、四、七、十二、十七次派遣隊）人員及び車両等派遣
令和元年　6月　4日	株式会社オーツカよりドローン寄贈（設立50周年記念）
7月　1日	有限会社北央防災設備よりテント寄贈（設立30周年記念）
8月25日	全国消防救助技術大会（岡山県岡山市） 岩見沢署　黒田・山下消防士長、ロープ応用登はんに出場 岩見沢署　下山消防士、はしご登はんに出場 月形支署　呉羽・岡田消防士長、淺井消防士、ほふく救出に出場
11月　1日	岩見沢消防団、北海道消防協会表彰旗受章
12月14日	岩見沢署、はしご付消防自動車配備
令和　2年　1月28日	新型コロナウイルス感染者が道内で初めて確認される。（感染拡大防止のため各種行事等の開催が中止となる。）
5月　1日	多言語通訳サービス運用開始
7月　1日	Ｎｅｔ１１９運用開始
7月13日	岩見沢署南出張所、庁舎屋上防水工事

歴代役職者

管理者

令和２年４月１日現在

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	初　代	国兼　孝治	Ｓ４７．　４．　１	
2	第２代	能勢　邦之	Ｈ　２．１０．２０	
3	第３代	渡辺　孝一	Ｈ１４．１１．１２	
4	第４代	松野　哲	Ｈ２４．　９．　９	

消防長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第６代	後藤田　章二	Ｓ４７．　４．　１	
2	第７代	珍田　卓幸	Ｓ４８．　６．　１	
3	第８代	杉浦　公亮	Ｓ４９．１２．２１	
4	第９代	谷内　三郎	Ｓ５３．１２．２８	
5	第１０代	藤本　良雄	Ｓ５８．　６．　１	
6	第１１代	荒川　清	Ｓ５９．　６．　１	S60.12.1～H61.3.31署長兼務
7	第１２代	坂本　和芳	Ｓ６２．１０．　１	
8	第１３代	藤原　幸彦	Ｈ　２．　４．　１	
9	第１４代	嵐　幸雄	Ｈ　６．　４．　１	
１０	第１５代	菅田　征夫	Ｈ　７．１０．　１	
１１	第１６代	松尾　秀壽	Ｈ１２．　４．　１	
１２	第１７代	浜本　猛	Ｈ１３．　４．　１	H13.4.1～H15.3.31署長兼務
１３	第１８代	鈴木　浩之	Ｈ１５．　４．　１	
１４	第１９代	千葉　勝美	Ｈ２０．　４．　１	
１５	第２０代	高橋　広	Ｈ２１．　４．　１	
１６	第２１代	安田　勉	Ｈ２４．　４．　１	
１７	第２２代	水上　勝則	Ｈ２６．　４．　１	
１８	第２３代	北　敏之	Ｈ２７．　４．　１	
１９	第２４代	館　守	Ｈ３１．　４．　１	

消防署長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第３代	佐藤　吉松	Ｓ４７．　４．　１	
2	第４代	斉藤　友一	Ｓ４７．　６．　１	
3	第５代	田公　典義	Ｓ５９．　６．　１	
4	第６代	出口　正敏	Ｓ６０．　４．　１	
5	第７代	荒川　清	Ｓ６０．１２．　１	
6	第８代	木村　鉄五郎	Ｓ６１．　４．　１	
7	第９代	中山　昇	Ｈ　９．　４．　１	
8	第１０代	浜本　猛	Ｈ１０．　４．　１	
9	第１１代	道下　榮司	Ｈ１５．　４．　１	
１０	第１２代	千葉　勝美	Ｈ１７．　４．　１	
１１	第１３代	高橋　広	Ｈ２０．　４．　１	
１２	第１４代	安田　勉	Ｈ２１．　４．　１	
１３	第１５代	水上　勝則	Ｈ２４．　４．　１	
１４	第１６代	北　敏之	Ｈ２６．　４．　１	
１５	第１７代	館　守	Ｈ２７．　４．　１	
１６	第１８代	渡辺　正勝	Ｈ３１．　４．　１	

議長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	初　代	笠原　喜平治	Ｓ４７．　４．　１	
2	第２代	石尾　源治	Ｓ４８．　７．３０	
3	第３代	松下　久信	Ｓ５０．　５．２７	
4	第４代	安彦　昭	Ｓ５４．　５．２９	
5	第５代	森本　和男	Ｓ５６．　３．２５	
6	第６代	宮越　善三	Ｓ５８．　５．１３	
7	第７代	滝本　常吉	Ｓ６０．　４．１１	
8	第８代	辰田　義太郎	Ｓ６１．１２．２２	
9	第９代	細岡　典昭	Ｓ６２．　６．２３	
１０	第１０代	中川　数男	Ｈ　１．　６．３０	
１１	第１１代	瀬能　晃	Ｈ　３．　６．１０	
１２	第１２代	安藤　冨夫	Ｈ　５．　６．１１	
１３	第１３代	中田　猛	Ｈ　７．　６．　１	
１４	第１４代	高橋　義明	Ｈ　９．　５．１９	
１５	第１５代	富岡　潤美	Ｈ１１．　６．　４	
１６	第１６代	村上　勝則	Ｈ１３．　６．１４	
１７	第１７代	仁志　紘一	Ｈ１５．　６．　６	
１８	第１８代	山本　賢一	Ｈ１７．　６．２９	
１９	第１９代	鎌田　誠	Ｈ１９．　６．２１	
２０	第２０代	伊澤　幸信	Ｈ２１．　６．１８	
２１	第２１代	笹島　清一	Ｈ２３．　６．２３	
２２	第２２代	野尻　清	Ｈ２５．　６．２６	
２３	第２３代	太田　博之	Ｈ２７．　７．　７	
２４	第２４代	石黒　武美	Ｈ２９．　６．２９	
２５	第２５代	峯　泰教	Ｒ　１．　６．２７	

副議長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	初　代	箕田　重一	Ｓ４７．　４．　１	
2	第２代	山本　光義	Ｓ５０．　５．２７	
3	第３代	武田　貞光	Ｓ５４．　５．２９	
4	第４代	斉藤　孝敏	Ｓ５８．　５．３０	
5	第５代	今　久男	Ｓ６２．　６．２３	
6	第６代	羽根　久生	Ｈ　１．　６．３０	
7	第７代	鎌田　賢一	Ｈ　３．　６．１０	
8	第８代	町田　一雄	Ｈ　５．　６．１１	
9	第９代	小野　英夫	Ｈ　７．　６．　１	
１０	第１０代	坂本　昇	Ｈ　９．　６．２３	
１１	第１１代	小友　寛光	Ｈ１１．　６．　４	
１２	第１２代	吉田　義一	Ｈ１３．　６．１４	
１３	第１３代	尾田　則幸	Ｈ１５．　６．　６	
１４	第１４代	安藤　勝芳	Ｈ１７．　６．２９	
１５	第１５代	安藤　勝芳	Ｈ１８．　５．１６	
１６	第１６代	宮元　哲夫	Ｈ１９．　６．２１	
１７	第１７代	金澤　博	Ｈ２３．　６．２３	
１８	第１８代	大釜　登	Ｈ２７．　７．　７	
１９	第１９代	堀　広一	Ｒ　１．　６．２７	

岩見沢消防団長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第 2 代	倉　増　　新八郎	Ｓ４７．　４．　１	
2	第 3 代	吉　本　　利　之	Ｓ５７．　４．　１	
3	第 4 代	坂　上　　長　蔵	Ｓ５９．　４．　１	
4	第 5 代	柿　本　　良　三	Ｓ６２．　４．　１	
5	第 6 代	平　木　　忠　男	Ｈ　８．　４．　１	
6	第 7 代	坂　尾　　尚　哉	Ｈ１１．　４．　１	
7	第 8 代	大久保　　恒　夫	Ｈ１７．　４．　１	
8	第 9 代	松　井　　英　雄	Ｈ２３．　４．　１	
9	第１０代	仁　志　　正　樹	Ｈ３０．　７．　１	

月形消防団長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第 5 代	福　居　　憲　吾	Ｓ４７．　４．　１	
2	第 6 代	桑　原　　孝　一	Ｓ５５．　６．２７	
3	第 7 代	丸　山　　秀　郎	Ｈ　３．　４．　１	
4	第 8 代	亀　倉　　勝　幸	Ｈ１２．　４．　１	
5	第 9 代	門　脇　　芳　夫	Ｈ１７．　４．　１	
6	第１０代	山　田　　啓　一	Ｈ２８．　４．　１	
7	第１１代	中　嶋　　雅　義	Ｈ３１．　４．　１	

旧栗沢消防団長　　Ｈ２０．４．１岩見沢消防団と統合

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第 3 代	渡　辺　　正　信	Ｓ４７．　４．　１	
2	第 4 代	吉　田　　定　男	Ｓ５３．　９．　１	
3	第 5 代	早　川　　二三四	Ｓ５９．　４．　１	
4	第 6 代	中　谷　　茂	Ｈ　５．　９．　１	
5	第 7 代	西　村　　康　徳	Ｈ１６．　４．　１	
6	第 8 代	荒　井　　弘	Ｈ１９．　４．　１	

旧北消防団長　　Ｈ２０．４．１岩見沢消防団と統合

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第 2 代	渡　辺　　一　一	Ｓ４７．　４．　１	
2	第 3 代	岩　田　　秀　夫	Ｓ５９．　２．　１	
3	第 4 代	外　崎　　善　一	Ｈ　７．　４．　１	
4	第 5 代	鈴　内　　拓　雄	Ｈ１８．　４．　１	

消　防　表　彰

褒　　章

令和２年７月１日現在

氏　名	区　分　（年）	所属
倉増新八郎	藍綬褒章　（昭42）	岩見沢
	紺綬褒章　（昭48）	
	藍綬褒章　（昭48）	
福居　憲吾	紺綬褒章　（昭50）	月　形
	藍綬褒章　（昭55）	
渡辺　一一	藍綬褒章　（昭53）	北
桑原　孝一	藍綬褒章　（平 3）	月　形

叙位・叙勲

氏　名	区　分　（年）	所属
深見松太郎	勲五等双光旭日章　（昭40）	岩見沢
	従五位　（昭50）	
村上　源一	勲五等瑞宝章　（昭47）	〃
	従五位　（平 6）	
米川富三郎	勲六等単光旭日章　（昭47）	栗　沢
平田　常雄	勲六等単光旭日章　（昭48）	〃
大友　信夫	勲六等瑞宝章　（昭49）	岩見沢
	正七位　（昭52）	
長谷川栄吉	勲七等瑞宝章　（昭49）	〃
藤林　政蔵	勲七等瑞宝章　（昭49）	〃
菊谷　　晋	勲七等青色桐葉章　（昭50）	〃
笹木　光則	勲七等青色桐葉章　（昭50）	月　形
土谷　久一	勲六等単光旭日章　（昭50）	栗　沢
加藤　三雄	勲六等瑞宝章　（昭51）	岩見沢
河合　耕吉	勲六等瑞宝章　（昭52）	栗　沢
大山　直吉	勲六等瑞宝章　（昭52）	岩見沢
高野　寅治	勲七等瑞宝章　（昭52）	〃
渡辺　正信	勲五等瑞宝章　（昭53）	栗　沢
磯野　芳雄	勲六等瑞宝章　（昭53）	岩見沢
沢田　政市	勲七等瑞宝章　（昭54）	〃
中村　武雄	勲四等瑞宝章　（昭54）	〃
	従五位　（平 9）	
小林　林蔵	勲六等瑞宝章　（昭54）	〃
橋本　岩雄	勲七等青色桐葉章　（昭55）	〃
及川　孝志	勲六等単光旭日章　（昭55）	栗　沢
荒井　鴻二	勲七等青色桐葉章　（昭55）	岩見沢
杉田太三郎	勲七等青色桐葉章　（昭56）	〃
倉増新八郎	勲三等瑞宝章　（昭56）	〃
	従四位　（昭60）	
辻　　繁定	勲六等瑞宝章　（昭56）	〃
鎌田　春一	勲七等青色桐葉章　（昭56）	北
佐藤　吉松	勲五等瑞宝章　（昭58）	岩見沢
	正七位　（平13）	
吉本　利之	勲五等瑞宝章　（昭59）	〃
山﨑　庄一	勲六等単光旭日章　（昭59）	栗　沢
馬渕　政之	勲六等単光旭日章　（昭59）	岩見沢
渡辺　一一	勲五等瑞宝章　（昭60）	北
	従六位　（昭61）	
福居　憲吾	勲五等瑞宝章　（昭60）	月　形
西塚　芳一	勲六等瑞宝章　（昭60）	栗　沢
坂上　長蔵	勲五等瑞宝章　（昭62）	岩見沢
大杉　譲賢	勲七等瑞宝章　（昭63）	月　形
溝口　藤一	勲六等瑞宝章　（平元）	栗　沢
橋本　数雄	勲六等瑞宝章　（平 3）	北
田公　典義	勲五等瑞宝章　（平 3）	岩見沢
	正七位　（平 3）	
溝口　武雄	勲六等瑞宝章　（平 4）	〃
佐藤幸治郎	勲六等瑞宝章　（平 5）	〃
戸田　　勇	勲六等単光旭日章　（平 5）	北
穴田　清吉	勲六等単光旭日章　（平 7）	岩見沢
	正七位　（平18）	
竹内清一郎	勲六等単光旭日章　（平 8）	栗　沢
岩田　秀夫	勲五等瑞宝章　（平 9）	北
	従六位　（平24）	
山田　　規	勲六等単光旭日章　（平10）	月　形
桑原　孝一	勲五等双光旭日章　（平11）	〃
窪田　和夫	勲六等単光旭日章　（平11）	岩見沢
柿本　良三	勲六等瑞宝章　（平13）	〃
斉藤　友一	勲五等双光旭日章　（平14）	〃
	正六位　（平23）	
丸山　秀郎	瑞宝双光章　（平15）	月　形
吉田　定男	瑞宝単光章　（平15）	栗　沢
早川二三四	勲五等瑞宝章　（平15）	〃
吉井　勝治	瑞宝単光章　（平16）	岩見沢
	従七位　（平16）	
小松　清一	瑞宝単光章　（平16）	栗　沢
大澤　長命	瑞宝単光章　（平16）	岩見沢
	従七位　（平18）	
阿波加深明	瑞宝単光章　（平16）	〃
	従七位　（平16）	
水間　緑朗	瑞宝単光章　（平17）	〃
鑓水　　進	瑞宝単光章　（平17）	〃
平井　　勉	瑞宝単光章　（平17）	〃
中谷　　茂	瑞宝双光章　（平18）	栗　沢
谷川　　覚	瑞宝単光章　（平18）	〃
	従七位　（平18）	

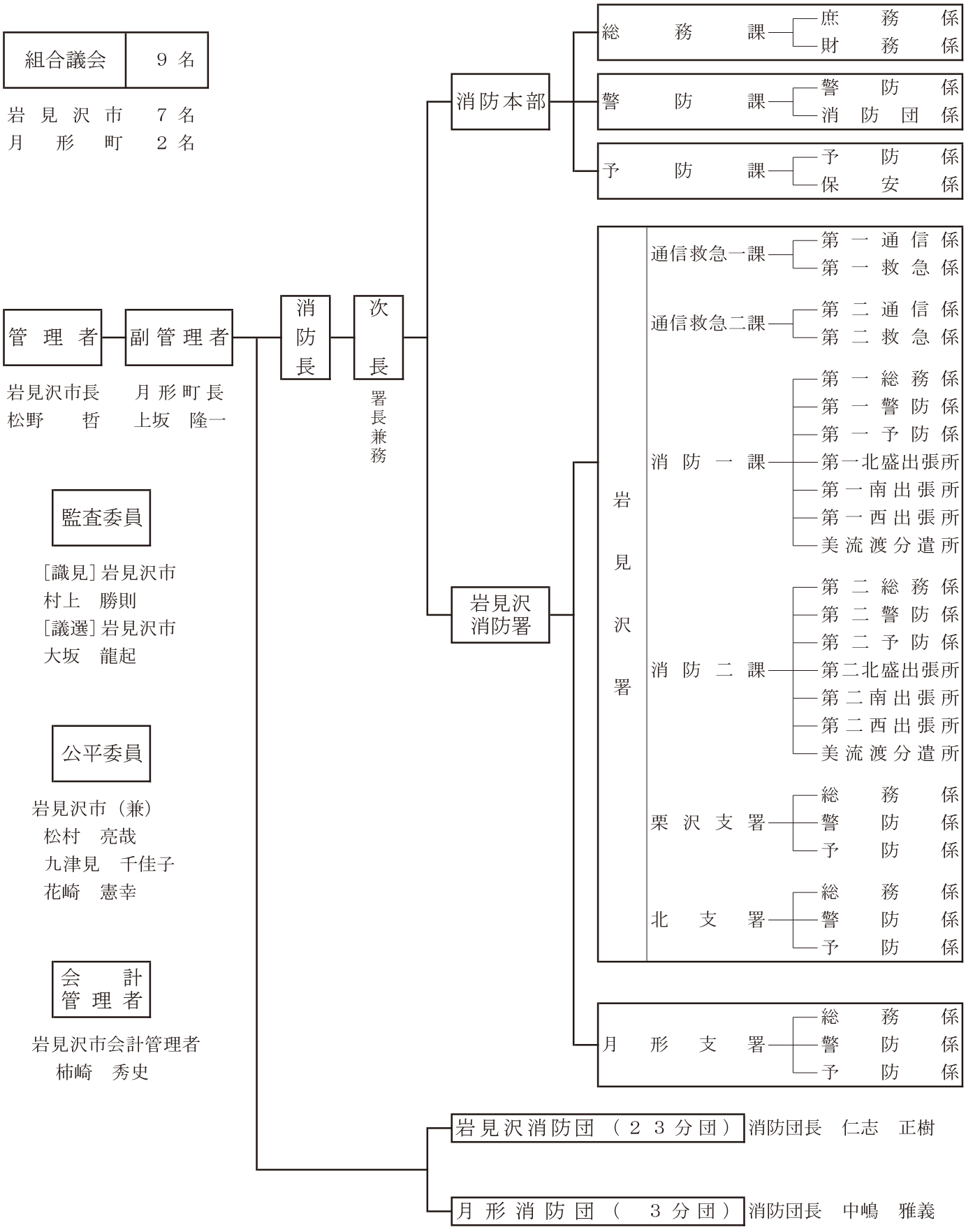
叙位・叙勲

氏　名	区　分　（年）		所属
長谷川　清	瑞宝単光章	（平19）	岩見沢
	正七位	（平19）	
小野寺喜三郎	瑞宝単光章	（平19）	岩見沢
荒井　三行	瑞宝単光章	（平20）	〃
冨樫　光男	瑞宝単光章	（平20）	栗　沢
	従七位	（平20）	
出口　正敏	瑞宝双光章	（平20）	岩見沢
	正七位	（平25）	
岩田　榮一	瑞宝単光章	（平20）	〃
	正七位	（平20）	
会沢　辰也	瑞宝単光章	（平21）	〃
坂本　辰夫	瑞宝単光章	（平21）	月　形
	正七位	（平21）	
中川　　甫	瑞宝単光章	（平21）	岩見沢
平木　　勇	瑞宝単光章	（平21）	〃
	正七位	（平21）	
亀倉　勝幸	瑞宝双光章	（平21）	月　形
佐々木惠三	瑞宝単光章	（平21）	〃
齋藤　　稔	瑞宝双光章	（平22）	岩見沢
岩﨑　幸勝	瑞宝単光章	（平22）	〃
川島　　清	瑞宝単光章	（平22）	〃
	正七位	（平22）	
中山　　昇	瑞宝双光章	（平22）	〃
外崎　善一	瑞宝双光章	（平22）	北
青山　吉雄	瑞宝単光章	（平23）	月　形
髙橋　一良	瑞宝単光章	（平23）	岩見沢
道下　榮司	瑞宝単光章	（平24）	〃
	正七位	（平29）	
平木　忠男	瑞宝単光章	（平24）	〃
永安　正宣	瑞宝単光章	（平24）	〃
中谷　俊松	瑞宝単光章	（平24）	〃
秦野　光德	瑞宝単光章	（平25）	〃
小林　市藏	瑞宝単光章	（平25）	〃
	正七位	（平25）	
長永　克己	瑞宝単光章	（平25）	〃
秋山　芳信	瑞宝単光章	（平26）	〃
鈴木　浩之	瑞宝双光章	（平26）	〃
大久保恒夫	瑞宝単光章	（平26）	〃
大釜　紀夫	瑞宝単光章	（平26）	月　形
中田　正雄	瑞宝単光章	（平27）	岩見沢
石﨑　幸男	瑞宝単光章	（平27）	〃
浜本　　猛	瑞宝双光章	（平27）	〃
	従六位	（平27）	
池田　憲二	瑞宝単光章	（平28）	〃
大灘　光治	瑞宝単光章	（平28）	〃
石田　　清	瑞宝単光章	（平29）	月　形

氏　名	区　分　（年）		所属
柳川　紀夫	瑞宝単光章	（平29）	月　形
髙宮　繁樹	瑞宝単光章	（平30）	岩見沢
	正七位	（平30）	
千葉　勝美	瑞宝双光章	（平30）	〃
遠山　訓夫	瑞宝単光章	（平30）	〃
	正七位	（平30）	
西村　康德	瑞宝単光章	（平30）	栗　沢
茶木　栄治	瑞宝単光章	（平30）	岩見沢
植松　　廣	瑞宝単光章	（平30）	月　形
鈴木　俊彦	瑞宝単光章	（平31）	栗　沢
田野　　満	瑞宝単光章	（令元）	岩見沢
松井　英雄	瑞宝双光章	（令元）	〃
門脇　芳夫	瑞宝双光章	（令 2）	月　形
谷　　節夫	瑞宝単光章	（令 2）	岩見沢

消　防　組　織

令和２年４月１日現在



消　防　団　組　織

令和２年４月１日現在

岩見沢消防団

団　長 ― 副団長

- 団　本　部（岩見沢市一円）
- 女 性 分 団（岩見沢市一円）
- 第 １ 分 団（条丁目区域とその周辺の町・上幌向地区の一部）
- 第 ２ 分 団（条丁目区域とその周辺の町・上幌向地区の一部）
- 第 ３ 分 団（志文本町）
- 第 ４ 分 団（幌向町・幌向条丁目・中幌向町・御茶の水町の一部）
- 第 ５ 分 団（上志文町）
- 第 ６ 分 団（西川町）
- 第 ７ 分 団（稔町）
- 第 ８ 分 団（東町・東町条丁目・岡山町・宝水町）
- 第１１分団（朝日町）
- 第１２分団（大願町）
- 第１４分団（峰延町）
- 第１５分団（下志文町・金子町・志文町・ふじ町条丁目・双葉町・上幌向地区の一部）
- 第１６分団（栗沢町美流渡及び万字を除く栗沢町一円）
  - 第 １ 部
    - 第 １ 班
    - 第 ２ 班
  - 第 ２ 部
    - 第 １ 班
    - 第 ２ 班
  - 第 ３ 部
    - 第 １ 班
    - 第 ２ 班
- 第１７分団（美流渡一円・奈良・毛陽・清水）― 第１部・２部
  - 第 １ 班
  - 第 ２ 班
  - 第 ３ 班
- 第１８分団（万字一円）
- 第１９分団（北村赤川・栄町）
- 第２０分団（北村豊正）
- 第２１分団（北村豊里・北都）
- 第２２分団（北村中小屋・大願）
- 第２３分団（北村中央・美唄達布）
- 第２４分団（北村幌達布・砂浜・御茶の水町の一部）
  - 第 １ 班
  - 第 ２ 班

月形消防団

団　長 ― 副団長

- 団　本　部（月形町一円）
- 第 １ 分 団（市北行政区・市南行政区・北農場第１行政区・北農場第２行政区・南耕地昭栄行政区・知来乙行政区・雁里行政区・中和行政区・赤川行政区）
- 第 ２ 分 団（札比内第１行政区・札比内第２行政区・札比内第３行政区・札比内第４行政区・札比内第５行政区）

岩見沢地区消防事務組合議会議員名簿

令和２年４月１日現在

選出区分	氏　　名	役　職　名	備　　考
岩見沢市	池　島　和　行		
	大　坂　龍　起		
	斉　須　正　友		
	野　尻　　清	代　表　議　員	
	峯　　泰　教	議　　長	
	宮　下　　透		
	山　田　靖　廣		
月形町	大　釜　　登	代　表　議　員	
	堀　　広　一	副　議　長	

消防職員の現況

令和２年４月１日現在

（単位：人）

所属＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合　計
消防本部	1	1	4	7	7		20
岩見沢消防署			15	36	62	14	127
岩見沢署			12	31	58	13	114
月形支署			3	5	4	1	13
合計	1	1	19	43	69	14	147
構成比	0.7%	0.7%	12.9%	29.3%	46.9%	9.5%	100.0%

消防職員の勤続年数現況

令和２年４月１日現在

（単位：人）

階級 / 勤続年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合計	構成比
1年未満					1	1	2	1.4%
1年～ 5年未満				1	1	12	14	9.5%
5年～10年未満					25	1	26	17.7%
10年～15年未満					34		34	23.1%
15年～20年未満			1	4	8		13	8.8%
20年～25年未満				8			8	5.5%
25年～30年未満				14			14	9.5%
30年～35年未満			2	10			12	8.2%
35年以上	1	1	16	6			24	16.3%
合計	1	1	19	43	69	14	147	100.0%

注：平均勤続年月　18年3ヶ月

消防職員の年齢構成

令和２年４月１日現在

（単位：人）

階級 / 年齢区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合計	構成比
20歳未満								0.0%
20歳～24歳						11	11	7.5%
25歳～29歳					33	3	36	24.5%
30歳～34歳					25		25	17.0%
35歳～39歳				7	9		16	10.9%
40歳～44歳				5	1		6	4.1%
45歳～49歳				14			14	9.5%
50歳～54歳			2	9			11	7.5%
55歳以上	1	1	17	8	1		28	19.0%
合計	1	1	19	43	69	14	147	100.0%

注：平均年齢　38歳7ヶ月

消防職員の免許等取得状況

令和２年４月１日現在

（単位：人）

種類＼階級			消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合計
自動車運転免許	第二種・大型				1	3			4
	第一種	大型	1	1	18	39	68	10	137
		普通					1	4	5
危険物取扱者	乙種	第3類				1			1
		第4類		1	10	29	46	4	90
	丙種				2	8	1		11
消防設備士	甲種	第1類				1			1
		第4類				1			1
	乙種	第1類				1			1
		第4類			1	4	1		6
		第5類				4			4
		第6類			1	11	5	1	18
		第7類				3			3
救急隊員	救急救命士				7	14	28	10	59
	救急科（標準課程）					16	40	4	60
	救急Ⅱ課程		1	1	11	12			25
予防資格	予防査察専門員		1	1	13	25	12	1	53
	消防設備専門員		1		3	2	64	1	71
	危険物専門員			1	3	3	4		11
自動車整備管理者					3	6			9
防災士				1	5	12	5		23
酸素欠乏危険作業主任者					5	22	41	5	73
酸欠・硫化水素危険作業主任者					4	20	29	5	58
高所作業車運転資格者					3	2			5
第二級陸上特殊無線技士				1	14	27	26	1	69
一級小型船舶操縦士					1				1
二級小型船舶操縦士				1	13	29	24		67
移動式クレーン			1	1	16	36	29		83
玉掛け			1	1	16	36	29		83
大型車両系機械					4	5	2		11
小型車両建設機械			1	1	12	31	60	6	111
チェーンソー				1	3	10	19	4	37
ガス溶接				1	11	13	10		35
アーク溶接				1	11	13	23		48
潜水士					1	2	8	1	12
足場組立作業主任者				1		3			4
毒劇物取扱者					2			1	3
研削といし				1	7	5	8	1	22

※運転免許～第一種大型自動車免許取得者で第二種大型自動車免許取得者を「第二種･大型」。第一種大型自動車免許取得者を「第一種･大型」。第一種大型自動車免許未取得で中型、準中型、普通自動車免許取得者を「第一種･普通」とする。

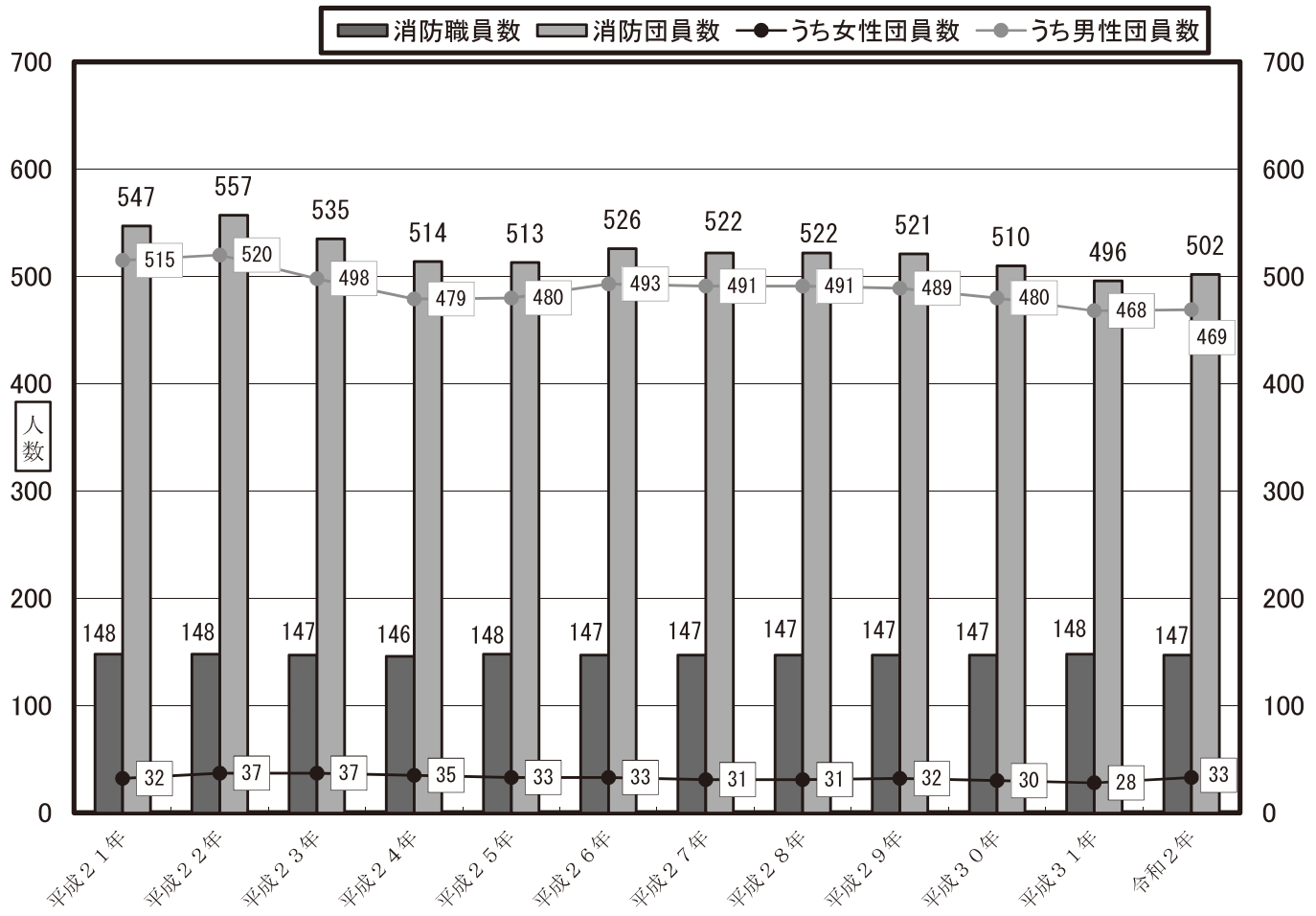
消防職員・団員の学校教育及び研修状況　　平成３１年４月１日～令和２年３月３１日

区分	課程別		実教育日数（日）	署所別研修受講者数（人）			合計（人）
				消防本部	岩見沢消防署		
					岩見沢署	月形支署	
北海道消防学校	初任教育		98		2		2
	専科教育	警防科	11		1		1
		予防査察科	9		1		1
		危険物科	6		1		1
		火災調査科	12	1			1
		救急科	46		1		1
		救助科	21		1		1
	幹部教育	幹部科	8		1	1	2
	特別教育	はしご自動車運用課程	5		4		4
		大規模災害広域応援現場指揮課程	9		1		1
	気管挿管再認定講習		1		3		3
	ビデオ硬性喉頭鏡講習		1		2		2
	処置拡大２行為講習		4		4	1	5
	消防団員教育	基礎教育	4		2		2
札幌市消防学校	救急救命士養成課程		184		1		1
合計				1	25	2	28

消防職員･団員数の推移

各年４月１日現在

（単位：人）



消防職員・団員１人当たりの面積・人口・世帯数

令和２年４月１日現在

区分	市町別		組合全体
	岩見沢市	月形町	
職員数	134	13	147
団員数	424	78	502
面積（単位：㎢）	481.02	150.40	631.42
消防職員１人当たり	3.59	11.57	4.3
消防団員１人当たり	1.13	1.93	1.26
人口（単位：人）	79,821	3,080	82,901
消防職員１人当たり	596	237	564
消防団員１人当たり	188	39	165
世帯数（単位：世帯）	41,410	1,622	43,032
消防職員１人当たり	309	125	293
消防団員１人当たり	98	21	86

令和２年度当初予算　　（単位：千円）

歳入				歳出			
款	項	金額	比率	款	項	金額	比率
１．分担金及び負担金		1,434,717	97.6%	１．議会費		1,098	0.1%
	１．負担金	1,434,717			１．議会費	1,098	
２．使用料及び手数料		393	0.0%	２．総務費		229,853	15.6%
	１．手数料	393			１．消防本部費	228,482	
３．国庫支出金		447	0.0%		２．監査委員費	1,371	
	１．国庫支出金	447		３．消防費		1,172,831	79.8%
４．寄付金		1	0.0%		１．岩見沢署費	1,036,584	
	１．寄付金	1			２．月形支署費	136,247	
５．繰越金		1	0.0%	４．公債費		65,772	4.5%
	１．負担金	1			１．公債費	65,772	
６．諸収入		3,195	0.2%	５．予備費		1,000	0.0%
	１．雑入	3,195			１．予備費	1,000	
７．組合債		31,800	2.2%				
	１．組合債	31,800					
歳入合計		1,470,554	100.0%	歳出合計		1,470,554	100.0%

令和２年度団体別当初予算　　（単位：千円）

区分／市町別	団体別一般会計	組合負担金			対一般会計構成比
		本部費	署費	計	
岩見沢市	50,000,000	212,098	1,063,345	1,275,443	2.55%
月形町	3,776,000	19,450	139,824	159,274	4.22%
計	53,776,000	231,548	1,203,169	1,434,717	2.67%

いわみざわ消防フェア・旧消防フェスティバルの実施状況

開　催　年　月		参加者数	開催場所	開　催　テ　ー　マ
消防フェスティバル 第 1回（平成16年）	10月17日	約1,500人	市役所 駐車場	「見て　触れて　体験して」
第 2回（平成17年）	9月25日	約2,000人		「住民（あなた）が主役安全なまち　いわみざわ」
第 3回（平成18年）	7月23日	約2,300人		「消防士は　かっこいい」
第 4回（平成19年）	7月29日	約2,000人		「守ろう・広めよう・身につけよう！！」
第 5回（平成20年）	8月 3日	約2,000人		「ひろめよう！あなたから始まる防災意識」
第 6回（平成21年）	8月 9日	約2,300人		「見て　体験　高めよう防災意識！」
第 7回（平成22年）	8月 1日	約1,100人		「さあ　集まれ　未来の消防士！」
第 8回（平成23年）	7月24日	約2,500人		「防災への小さな一歩、確かな一歩！」
第 9回（平成24年）	7月29日	約3,500人		「まもり愛　つなぎ愛　未来は僕の手で」
第10回（平成25年）	8月 4日	約2,800人	岩見沢駅東市民広場 イベントホール 赤レンガ	「みんなで築こう　安心　岩見沢」
第11回（平成26年）	7月27日	約1,000人		「未来の消防士　今、走り出す」
第12回（平成27年）	8月 1日	約3,000人		「フェスティバルに集まれ！楽しんで防災への第一歩」
第13回（平成28年）	7月31日	約3,500人		「体験・安心・笑顔」
いわみざわ消防フェア 第 1回（平成30年）	9月 1日	約1,200人	消防庁舎 敷地内	体験型・展示型・見学型の開催
いわみざわ消防フェア 第 2回（令和元年）	8月24日	約　900人		

※令和２年度いわみざわ消防フェアは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

主な開催内容

１．消防車両及び装備品の展示、車両乗車、放水、煙、応急手当等の体験学習

２．岩見沢市による非常食の提供、消防団員の活動紹介、募集

警　防　編

消防機械等及び消防水利の設置状況

令和２年４月１日現在

区分 ＼ 所属		消防本部・署	月形支署	岩見沢消防団	月形消防団	合計
機械・器具（台・隻・器）	消防ポンプ自動車	2		5	1	8
	水槽付消防ポンプ自動車	6	1			7
	小型動力ポンプ付水槽車	4	1		1	6
	はしご付消防自動車	1				1
	小型動力ポンプ付積載車			24	2	26
	化学消防ポンプ自動車	1				1
	救助工作車	1				1
	救急自動車	5	1			6
	指揮車	1				1
	人員搬送車	1				1
	照明搬送車	1				1
	資機材搬送車	1				1
	指導査察車	1				1
	ホイールローダー	5				5
	広報車	1	1			2
	連絡車	2	1			3
	合計	33	5	29	4	71
	救助艇	4	2			6
	救助艇トレーラー	3	1			4
	小型動力ポンプ			3		3
	空気呼吸器	72	9		2	83
	酸素呼吸器	5				5
無線（機）	車載型移動局無線装置	34	4	23	4	65
	可搬型移動局無線装置	1	1			2
	卓上型可搬無線装置	9	1			10
	卓上型受令機	6	1			7
	携帯型移動局無線装置	47	8			55
	署活系携帯型無線装置	49	10			59
	合計	146	25	23	4	198
水利（基）	消火栓	991	17			1,008
	防火水槽	129	36			165
	計	1,120	53			1,173
ホース（本）	65㎜ホース	422	60	670	74	1,226
	50㎜ホース	525	62		25	612
	合計	947	122	670	99	1,838
その他施設（箇所・棟・塔）	署・支署・出張所・分遣所	7	1			8
	器具置場			23	1	24
	サイレン塔等 サイレン吹鳴装置	4	1	17	12	34
	訓練棟	1				1
	無線塔	1				1

消防団の現況

令和２年４月１日現在

（単位：人）

区分	分団別	階級別									合計
		団長	副団長	本部長	分団長	副本部長	副分団長	部長	班長	団員	
岩見沢消防団	団本部	1	3	1	3						8
	女性分団				1		1	2	4	15	23
	第１分団				1		1	2	4	20	28
	第２分団				1		1	3	6	37	48
	第３分団				1		1	1	2	13	18
	第４分団				1		1	1	2	12	17
	第５分団				1		1	1	2	13	18
	第６分団				1		1	1	2	17	22
	第７分団				1		1	2	2	19	25
	第８分団				1		1	1	2	9	14
	第１１分団				1		1	1	2	8	13
	第１２分団				1		1	1	2	8	13
	第１４分団				1		1	1	2	8	13
	第１５分団				1		1	3	3	10	18
	第１６分団				1		1	3	6	34	45
	第１７分団				1		1	2	3	10	17
	第１８分団				1		1	1	1	2	6
	第１９分団				1		1	1	2	4	9
	第２０分団				1		1	1	2	9	14
	第２１分団				1		1	1	2	7	12
	第２２分団				1		1	1	2	9	14
	第２３分団				1		1	1	2	8	13
	第２４分団				1		1	1	2	11	16
	小計	1	3	1	25		22	32	57	283	424
月形消防団	団本部	1	2	1				1	1	8	14
	第１分団				1		1	2	5	28	37
	第２分団				1		1	2	4	19	27
	小計	1	2	1	2		2	5	10	55	78
合計		2	5	2	27		24	37	67	338	502

消防団員の年額報酬の現況

令和２年４月１日現在

（単位：円）

区分＼階級別	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
岩見沢地区	77,400	58,500	44,700	36,900	30,900	27,700	24,900
北海道平均	89,748	67,928	52,063	43,416	36,563	33,015	30,095
空知管内平均	96,333	72,878	59,022	48,600	40,256	33,989	30,989

※北海道平均、空知管内平均は「平成27年4月1日現在」

□過去の改正の経過

▽平成15年　…　団員22,300円 → 24,900円
平成 7年　…　団員19,800円 → 22,300円
平成元年　…　団員19,100円 → 19,800円
昭和62年　…　団員18,400円 → 19,100円
昭和61年　…　団員17,400円 → 18,400円

消防団員の費用弁償の現況

令和２年４月１日現在

（単位：円）

区分＼種別	災害出動		警戒	訓練	その他
	火災	風水害			
岩見沢地区	3,600（1回4時間を限度とし、4時間を超えるときは、4時間ごとに1回を加算する。）		3,100		
北海道平均	4,747	4,637	4,130	4,068	3,089
空知管内平均	3,600	3,567	3,267	3,267	2,978

※北海道平均、空知管内平均は「平成27年4月1日現在」

□過去の改正の経過

▽平成24年改正　…　災害１人１回につき3,600円→１人１回につき3,600円（1回4時間を限度とし、4時間を超えるときは、4時間ごとに1回を加算する。）
平成 5年　…　災害3,300円→3,600円、その他2,900円→3,100円
平成 4年　…　災害3,000円→3,300円、その他2,700円→2,900円
平成 3年　…　災害2,800円→3,000円、その他2,500円→2,700円
平成元年　…　災害2,300円→2,800円、その他2,000円→2,500円
昭和57年　…　災害2,000円→2,300円、その他1,700円→2,000円

予防編

指定防火対象物査察実施状況

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

指定防火対象物区分 ＼ 市町別			対象物数(件)			査察実施回数(回)			指導件数(件)
			岩見沢市	月形町	小計	岩見沢市	月形町	小計	
(1)	イ	映画館・観覧場	6	1	7	3	1	4	6
	ロ	公会堂・集会場	87	1	88	88	1	89	176
(2)	イ	キャバレー・カフェー							
	ロ	遊技場・ダンスホール	9		9	3		3	2
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等							
	ニ	カラオケボックス等	2		2	2		2	5
(3)	イ	待合・料理店の類							
	ロ	飲食店	77	7	84	133	2	135	115
(4)		百貨店・マーケット・その他物品販売業を営む店舗	126	7	133	115	8	123	184
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	25	22	47	19	22	41	35
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,330	45	1,375	336	45	381	253
(6)	イ	病院・診療所・助産所	64	1	65	46	1	47	54
	ロ	老人短期入所施設等	33	8	41	29	8	37	54
	ハ	老人デイサービスセンター等	100	11	111	92	12	104	62
	ニ	幼稚園・特別支援学校	7	1	8	6	1	7	8
(7)		小中高等学校・各種学校の類	65	3	68	67	3	70	44
(8)		博物館・図書館	3	2	5	3	2	5	4
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場							
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	3		3	3		3	5
(10)		車両の停車場	1		1	1		1	
(11)		神社・寺院・教会の類	103	3	106	85	3	88	123
(12)	イ	工場・作業場	313	21	334	219	21	240	251
	ロ	スタジオの類							
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	72	3	75	49	3	52	36
	ロ	飛行機等の格納庫							
(14)		倉庫	354	18	372	206	19	225	190
(15)		前各項に該当しない事業場	399	39	438	286	39	325	218
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複合用途防火対象物	257	18	275	243	15	258	352
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	184	4	188	137	4	141	156
(17)		重要文化財	1	1	2	1	1	2	
合計			3,621	216	3,837	2,172	211	2,383	2,333

指定防火対象物査察指導状況

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

（単位：件）

市町別 / 指導項目別	岩見沢市	月形町	合計
消火器具	285	37	322
屋内消火栓設備	24	2	26
スプリンクラー設備	12		12
水噴霧消火設備等（泡・不活性ガス・ハロゲン・粉末）	2		2
屋外消火栓設備	1		1
動力消防ポンプ設備			
自動火災報知設備	144	13	157
ガス漏れ火災警報設備			
消防機関へ通報する火災報知設備			
漏電火災警報器	6		6
非常警報設備・器具	33	3	36
避難器具	34	14	48
誘導灯・誘導標識	161	19	180
消防用水			
消火活動上必要な施設（連結送水管・排煙・連結散水設備）	12		12
防火管理	847	32	879
防災管理			
火気関係等	1	3	4
少量危険物等	363	48	411
住宅用火災警報器	42		42
その他	158	37	195
合計	2,125	208	2,333

中高層建築物状況

令和２年４月１日現在

（単位：施設）

区分			4階			5階	6階	7階	8階	9階	10階	合計
			岩見沢市	月形町	小計	岩見沢市	岩見沢市	岩見沢市	岩見沢市	岩見沢市	岩見沢市	
(1)	イ	映画館・観覧場										
	ロ	公会堂・集会場	1		1							1
(2)	イ	キャバレー・カフェー										
	ロ	遊技場・ダンスホール										
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等										
	ニ	カラオケボックス等										
(3)	イ	待合・料理店の類										
	ロ	飲食店	1		1	4						5
(4)		百貨店・マーケット・その他物品販売業を営む店舗	1		1	1						2
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1		1	2	1					4
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	76	2	78	40	3	4			2	127
(6)	イ	病院・診療所・助産所	6		6	1	1	2				10
	ロ	老人短期入所施設等	1		1	1						2
	ハ	老人デイサービスセンター等				1						1
	ニ	幼稚園・特別支援学校										
(7)		小中高等学校・各種学校の類	7		7	1						8
(8)		博物館・図書館										
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場										
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場										
(10)		車両の停車場										
(11)		神社・寺院・教会の類										
(12)	イ	工場・作業場	1		1							1
	ロ	スタジオの類										
(13)	イ	自動車車庫・駐車場										
	ロ	飛行機等の格納庫										
(14)		倉庫										
(15)		前各項に該当しない事業場	10	7	17	4	1		1			23
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複合用途防火対象物	12		12	12	3	2		1		30
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	1		1	4	1					6
(17)		重要文化財										
合計			118	9	127	71	10	8	1	1	2	220

防火管理者選任及び消防計画届出状況

指定防火対象物区分 ＼ 市町別			該当防火対象物数（A）			防火管理者選任数（B）		
			岩見沢市	月形町	小計	岩見沢市	月形町	小計
(1)	イ	映画館・観覧場	1	1	2	1	1	2
	ロ	公会堂・集会場	84	1	85	83	1	84
(2)	イ	キャバレー・カフェー						
	ロ	遊技場・ダンスホール	8		8	8		8
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	2		2	2		2
(3)	イ	待合・料理店の類						
	ロ	飲食店	63	2	65	51	2	53
(4)		百貨店・マーケット・その他物品販売業を営む店舗	84	5	89	74	5	79
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	7		7	7		7
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	78		78	66		66
(6)	イ	病院・診療所・助産所	17	1	18	17	1	18
	ロ	老人短期入所施設等	24	8	32	24	8	32
	ハ	老人デイサービスセンター等	44	4	48	43	4	47
	ニ	幼稚園・特別支援学校	6	1	7	6	1	7
(7)		小中高等学校・各種学校の類	31	3	34	31	3	34
(8)		博物館・図書館	2	2	4	2	2	4
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1		1	1		1
(10)		車両の停車場						
(11)		神社・寺院・教会の類	63	3	66	54	3	57
(12)	イ	工場・作業場	16		16	15		15
	ロ	スタジオの類						
(13)	イ	自動車車庫・駐車場						
	ロ	飛行機等の格納庫						
(14)		倉庫	11		11	9		9
(15)		前各項に該当しない事業場	57	6	63	49	6	55
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複合用途防火対象物	115	9	124	98	9	107
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	34	1	35	28	1	29
(17)		重要文化財		1	1		1	1
合計			748	48	796	669	48	717

令和元年１２月３１日現在

（単位：件）

消防計画届出数（C）			選任率（B/A）			届出率（C/A）		
岩見沢市	月形町	小計	岩見沢市	月形町	小計	岩見沢市	月形町	小計
1	1	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
66	1	67	98.8%	100.0%	98.8%	78.6%	100.0%	78.8%
8		8	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%
2		2	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%
37	2	39	81.0%	100.0%	81.5%	58.7%	100.0%	60.0%
67	5	72	88.1%	100.0%	88.8%	79.8%	100.0%	80.9%
6		6	100.0%		100.0%	85.7%		85.7%
60		60	84.6%		84.6%	76.9%		76.9%
16	1	17	100.0%	100.0%	100.0%	94.1%	100.0%	94.4%
20	8	28	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	87.5%
37	4	41	97.7%	100.0%	97.9%	84.1%	100.0%	85.4%
5	1	6	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	85.7%
26	3	29	100.0%	100.0%	100.0%	83.9%	100.0%	85.3%
1	2	3	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	75.0%
			100.0%		100.0%	0.0%		0.0%
54	3	57	85.7%	100.0%	86.4%	85.7%	100.0%	86.4%
15		15	93.8%		93.8%	93.8%		93.8%
8		8	81.8%		81.8%	72.7%		72.7%
42	6	48	86.0%	100.0%	87.3%	73.7%	100.0%	76.2%
88	9	97	85.2%	100.0%	86.3%	76.5%	100.0%	78.2%
20	1	21	82.4%	100.0%	82.9%	58.8%	100.0%	60.0%
	1	1		100.0%	100.0%		100.0%	100.0%
579	48	627	89.4%	100.0%	90.1%	77.4%	100.0%	78.8%

建築物同意事務状況

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

（単位：件）

区分 ＼ 市町別			岩見沢市		月形町		合計
			新築	増改築等	新築	増改築等	件数
(1)	イ	映画館・観覧場					
	ロ	公会堂・集会場	1				1
(2)	イ	キャバレー・カフェー					
	ロ	遊技場・ダンスホール					
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等					
	ニ	カラオケボックス等					
(3)	イ	待合・料理店の類					
	ロ	飲食店	1				1
(4)		百貨店・マーケット・その他物品販売業を営む店舗					
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所					
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	11				11
(6)	イ	病院・診療所・助産所					
	ロ	老人短期入所施設等	1	1			2
	ハ	老人デイサービスセンター等	3	1			4
	ニ	幼稚園・特別支援学校		1			1
(7)		小中高等学校・各種学校の類					
(8)		博物館・図書館					
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場					
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					
(10)		車両の停車場					
(11)		神社・寺院・教会の類	2				2
(12)	イ	工場・作業場		1			1
	ロ	スタジオの類					
(13)	イ	自動車車庫・駐車場					
	ロ	飛行機等の格納庫					
(14)		倉庫	5	3	1		9
(15)		前各項に該当しない事業場	6				6
(16)	イ	(1)～(4)、(5)ｲ、(6)、(9)ｲが存する複合用途防火対象物	2				2
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	2	1			3
一般住宅等			20	3			23
昇降機・工作物							
合計			54	11	1		66

各種届出状況

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

区　　分	件数	区　　分	件数
工事整備対象設備等着工届出書	53	少量危険物貯蔵取扱所設置届出書	53
消防用設備等設置届出書	128	指定可燃物貯蔵取扱所設置届出書	
防火対象物使用開始(変更)届出書	86	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始(廃止)届出書	12
防火管理者選任(解任)届出書	155	集合煙突発煙試験申請書	
消防計画作成(変更)届出書	179	ネオン管灯設備設置届出書	
燃料電池発電・発電・変電・蓄電池設備設置届出書	24	劇場等の裸火使用・危険物品持込申請書	7
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機・火花を生ずる設備・放電加工機設置(変更)届出書	4	水素ガスを充填する気球の設置(変更)届出書	
住宅用防災警報器設置届出書	57	消防訓練実施計画書	845
防火対象物点検結果報告書	70	催物開催届出書	22
消防用設備等点検結果報告書	1,308	露店等の開設届出書	66

消防協力団体

令和２年４月１日現在

団　体　名	設 立 年 月 日	会　員　数
岩見沢地区危険物安全協会	昭和 41 年 4 月 1 日	126　事業所
岩 見 沢 市 火 防 協 会	昭和 32 年 9 月 20 日	213　町内会　41,538　世帯
岩 見 沢 地 区 防 火 委 員 会	昭和 57 年 8 月 1 日	幼年消防クラブ 12 団体 少年消防クラブ 2 団体 女性防火クラブ 1 団体

幼年・少年消防クラブ及び女性防火クラブ状況

令和２年４月１日現在

（単位：人）

男女別 / 名　称	男	女	指導者	合 計	設 立 年 月 日
よいこのくに幼稚園幼年消防クラブ	61	63	22	146	昭和 59 年 2 月 1 日
みなみ保育園幼年消防クラブ	20	18	9	47	平成 2 年 6 月 27 日
岩見沢ひがし認定こども園幼年消防クラブ	21	28	10	59	平成 2 年 10 月 10 日
さくらぎ保育園幼年消防クラブ	30	28	18	76	平成 2 年 11 月 26 日
みどり保育園幼年消防クラブ	29	31	17	77	平成 2 年 11 月 26 日
なかよし保育園幼年消防クラブ	14	15	13	42	平成 2 年 11 月 26 日
みその保育園幼年消防クラブ	12	18	17	47	平成 4 年 4 月 1 日
ほろむい認定こども園とことん幼年消防クラブ	24	22	7	53	平成 9 年 6 月 17 日
北　村　幼　年　消　防　ク　ラ　ブ	17	25	13	55	平成 9 年 6 月 25 日
岩見沢めぐみ幼稚園幼年消防クラブ	45	45	20	110	平成 15 年 4 月 1 日
花の里こども園幼年消防クラブ	20	10	5	35	平成 28 年 4 月 12 日
くりっこ幼年消防クラブ	14	9	9	32	平成 29 年 6 月 1 日
第　二　区　会　少　年　消　防　ク　ラ　ブ	11	7	3	21	昭和 49 年 10 月 17 日
若　駒　少　年　消　防　ク　ラ　ブ	20	22	7	49	昭和 62 年 6 月 28 日
上　幌　向　女　性　防　火　ク　ラ　ブ		15		15	昭和 56 年 2 月 28 日
合　　計	338	356	170	864	

岩見沢地区危険物安全協会

（設 立 趣 旨）

会員相互の融和親睦を深め危険物の安全な貯蔵取扱いを行い、災害の絶無を期し事業の繁栄を促進する。

（事 業 内 容）

（１）危険物の防火についての研究、講習会の開催について。

（２）危険物取扱者の育成に関すること。

（３）危険物火災予防の推進について。

（４）油処理剤の備蓄及び貸出しについて。

（５）危険物防災功労者の表彰について。

岩見沢市火防協会

（設 立 趣 旨）

町会を通じて、活発な防火活動を行い、自主的な防火体勢を確立して、火災の絶無を期し、もって明るく住みよい街づくりに寄与する。

（事 業 内 容）

（１）火災予防及び防火思想の普及宣伝に関すること。

（２）防火についての研修会、講演会の開催、見学等に関すること。

（３）消火器の普及取扱い訓練に関すること。

（４）消防団員の後援並びに激励に関すること。

（５）優良役員及び団体の表彰に関すること。

（６）その他この会の目的達成に必要な事項。

岩見沢地区防火委員会

（設 立 趣 旨）

幼年少年消防クラブ並びに女性防火クラブの育成強化を図ることにより、幼少年期における防火意識の高揚と女性の防火意識を高め、地域並びに家庭からの災害を防止し、災害のない明るい街づくりを推進する。

（事 業 内 容）

（１）防火思想の普及、火災予防の推進に関すること。

（２）幼年少年消防クラブ及び女性防火クラブの育成指導に関すること。

（３）優良クラブ員及び優良クラブの表彰に関すること。

火災等出動状況

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

区分／市町別	火災出動件数(件)	火災件数(件)	その他の件数					警戒出動件数(件)
			火事騒	誤報	虚報	応援	その他	
岩見沢市	39	25	6	6			2	117
月形町	4	4						11
合計	43	29	6	6			2	128

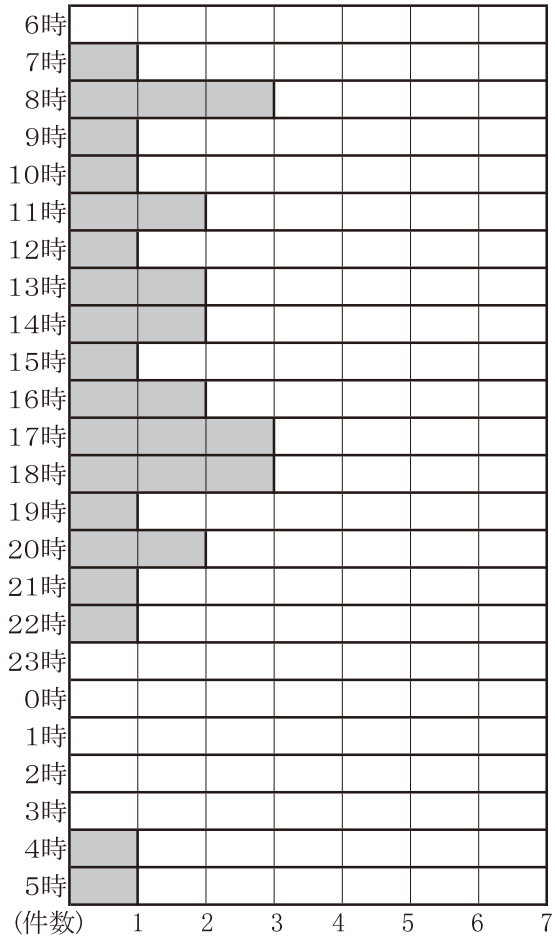
火災状況

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

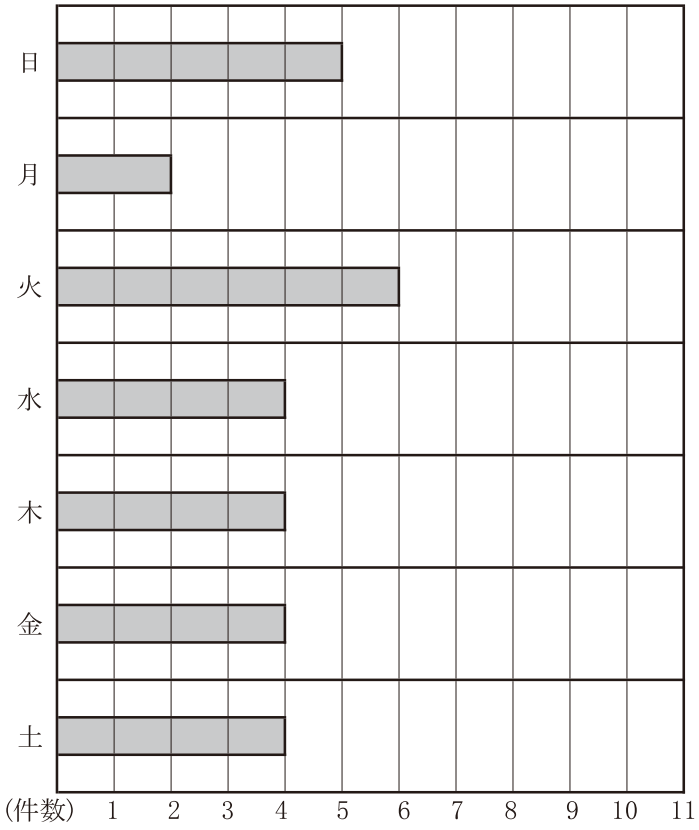
区分／市町別	火災件数(件)	建物				建物以外			焼損棟数(棟)	爆発損害棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害見積額(千円)	死傷者数	
		全焼	半焼	部分焼	ぼや	林野	車両	その他					死者(人)	負傷者(人)
岩見沢市	25	2	2	5	6		1	9	16		10	36,159	1	2
月形町	4			2			1	1	2		1	1,973		1
合計	29	2	2	7	6		2	10	18		11	38,132	1	3

※　爆発とは、爆発現象により建物等に損害が発生したが、焼き損害がなかったものをいう。

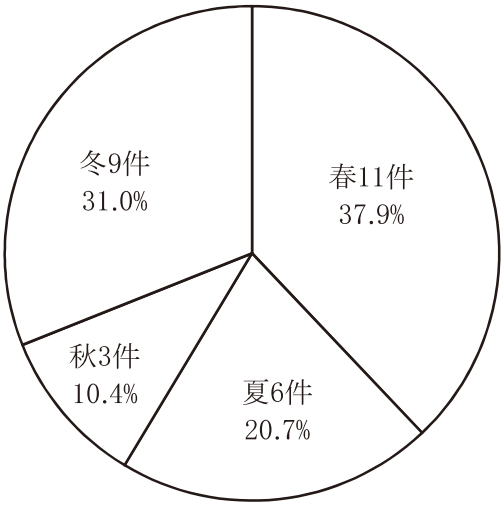
時間別火災件数



曜日別火災件数

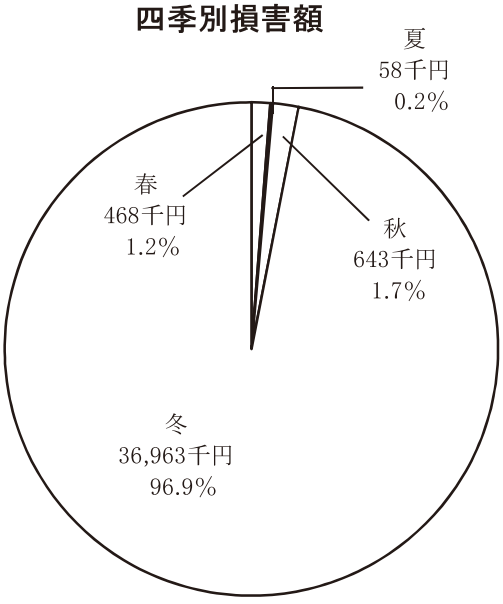


四季別火災件数



合計　29件

四季別損害額



合計　38,132千円

※　春3月～5月　夏6月～8月　秋9月～11月　冬12月～2月
※　各表 平成31年1月1日～令和元年12月31日

月別火災発生状況

区分 / 市町月別		火災件数									焼損棟数					爆発損害棟数
		建物					林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	
		全焼	半焼	部分焼	ぼや	小計										
岩見沢市	1月		1		1	2				2		1		1	2	
	2月				1	1				1				1	1	
	3月			1		1				1			1		1	
	4月	1			1	2		1	2	5	1		1	1	3	
	5月			2		2			2	4			2		2	
	6月								3	3						
	7月															
	8月			1	1	2			1	3			1	1	2	
	9月								1	1						
	10月	1			1	2				2	1			1	2	
	11月															
	12月		1	1	1	3				3		1	1	1	3	
	計	2	2	5	6	15		1	9	25	2	2	6	6	16	
月形町	1月								1	1						
	2月			1		1				1			1		1	
	3月			1		1				1			1		1	
	4月															
	5月															
	6月															
	7月															
	8月															
	9月															
	10月															
	11月															
	12月							1		1						
	計			2		2		1	1	4			2		2	
合計		2	2	7	6	17		2	10	29	2	2	8	6	18	

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

り災世帯数				焼損面積			損害見積額（千円）					死傷者数	
全損	半損	小損	計	床面積（㎡）	表面積（㎡）	林野（ａ）	建物	収容物	車両	その他	計	死者（人）	負傷者（人）
		1	1		49		1,284	109			1,393		
		1	1	2			13				13		
		2	2	91	2		180	25	60		265		
		2	2	1	2		93	71			164		1
												1	
		1	1		1		56	2			58		
		1	1	62			310	277	56		643		
	2		2	265	49		31,149	2,117	357		33,623		1
	2	8	10	421	103		33,085	2,601	473		36,159	1	2
										571	571		
				1			7	81			88		
		1	1		2			26			26		1
									1,288		1,288		
		1	1	1	2		7	107	1,288	571	1,973		1
	2	9	11	422	105		33,092	2,708	1,761	571	38,132	1	3

過去５年間の火災の推移

区分 / 市町別		火災件数					焼損棟数	爆発損害棟数	り災世帯数			
		建物	林野	車両	その他	計			全損	半損	小損	計
岩見沢市	平成２７年	17		3	1	21	20		5	6	12	23
	平成２８年	16	1	2	9	28	24		7	3	7	17
	平成２９年	18		2	4	24	19		3	1	6	10
	平成３０年	17		4	8	29	20		1		12	13
	令和元年(平成３１年)	15		1	9	25	16			2	8	10
月形町	平成２７年	1	1			2	1					
	平成２８年	6				6	7		1		1	2
	平成２９年			1	1	2						
	平成３０年	2			1	3	2					
	令和元年(平成３１年)	2		1	1	4	2				1	1
合計	平成２７年	18	1	3	1	23	21		5	6	12	23
	平成２８年	22	1	2	9	34	31		8	3	8	19
	平成２９年	18		3	5	26	19		3	1	6	10
	平成３０年	19		4	9	32	22		1		12	13
	令和元年(平成３１年)	17		2	10	29	18			2	9	11

各年１月１日～１２月３１日

焼損面積			火災種別損害見積額（千円）					死傷者数	
床面積（㎡）	表面積（㎡）	林野（ａ）	建物	林野	車両	その他	計	死者（人）	負傷者（人）
1,093	160		28,149		494	20,640	49,283	1	2
1,872	80	53	135,797		152		135,949	1	5
369	26		21,317		419	14,477	36,213		7
874	92		19,026		2,510	11,991	33,527		3
421	103		36,099		60		36,159	1	2
152		7	2,421			1,625	4,046		
491			20,246				20,246		
					270		270		
	1		253			12	265		
1	2		114		1,288	571	1,973		1
1,245	160	7	30,570		494	22,265	53,329	1	2
2,363	80	53	156,043		152		156,195	1	5
369	26		21,317		689	14,477	36,483		7
874	93		19,279		2,510	12,003	33,792		3
422	105		36,213		1,348	571	38,132	1	3

過去５年間の出火原因の推移

各年１月１日～１２月３１日

（単位：件）

原因別＼年別	令和元年（平成３１年）	平成３０年	平成２９年	平成２８年	平成２７年
たばこ	2	2	2		1
こんろ	7	1	1	3	
かまど					
風呂・かまど					
炉	1				
焼却炉		1			
ストーブ	1	3	2	7	1
こたつ					
ボイラー					
煙突・煙道	1			3	2
排気管					
電気機器	2	3	2	2	1
電気装置		2			
電灯・電話等の配線	1	1		3	2
内燃機関	1	1			
配線器具	1				
火あそび	1	1	1		
マッチ・ライター				4	1
たき火					
溶接機・切断機		1	1	1	1
灯火			1		1
衝突の火花					
取灰			1		
火入れ	2	3	1		2
放火	1	1			1
放火の疑い		1			1
その他	3	4	3	1	1
不明	5	7	11	10	8
合計	29	32	26	34	23

危険物製造所等設置状況

令和２年４月１日現在

（単位：施設）

施設別＼市町別		岩見沢市	月形町	合計
製造所				
貯蔵所	屋内貯蔵所	23	3	26
	屋外タンク貯蔵所	25	3	28
	屋内タンク貯蔵所	13	1	14
	地下タンク貯蔵所	181	24	205
	簡易タンク貯蔵所	1		1
	移動タンク貯蔵所	97	4	101
	屋外貯蔵所			
取扱所	給油取扱所	45	2	47
	一般取扱所	64	4	68
	第一種販売取扱所	2		2
合計		451	41	492

危険物製造所等の許認可等状況

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

（単位：件）

施設別＼許認可別		設置		変更		仮使用	完成検査前検査	予防規程	
		許可	完成	許可	完成			制定	変更
製造所									
貯蔵所	屋内貯蔵所		1						
	屋外タンク貯蔵所				2				
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所	1	1	4	4	2			
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所	6	6	6	6				
	屋外貯蔵所								
取扱所	給油取扱所			12	13	10		1	16
	一般取扱所	1	1	5	5	5			2
	第一種販売取扱所								
合計		8	9	27	30	17		1	18

仮貯蔵・仮取扱い	3

完成検査済証再交付	4

危険物関係各種届出状況　　平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

区　　分	件数	区　　分	件数
許可取止届出書		特定屋外タンク貯蔵所内部点検時期延長届出書	
譲渡引渡届出書	4	地下貯蔵タンク等の在庫の管理及び危険物の漏えい時の措置に関する計画届出書	
品名、数量又は指定数量の倍数変更届出書	4	各種申請取下届出書	
廃止届出書	14	変更工事（軽微）届出書	52
危険物保安統括管理者選任（解任）届出書		火気使用工事届出書	1
危険物保安監督者選任（解任）届出書	8	使用休止（再開）届出書	4
危険物取扱者選任(解任)届出書	27	名称等変更届出書	58
特定屋外タンク貯蔵所内部点検期間延長届出書		災害発生届出書	9

住宅用火災警報器の普及状況

令和２年７月１日現在

（単位：％）

区　分	設　置　率	条例適合率
組　合　管　内	82.0	82.0
北　海　道	82.0	67.6
全　国	82.3	67.9

※北海道及び全国については、令和元年６月１日現在の数値。

住宅用火災警報器設置届出状況

各年１月１日～１２月３１日

（単位：件）

年　別 / 市町別	令和元(平成31)年			平成30年		
	既存住宅	新築住宅	合　計	既存住宅	新築住宅	合　計
岩　見　沢　市	19	35	54	48	25	73
月　形　町	2	1	3	6	1	7
合　計	21	36	57	54	26	80

避難行動要支援者に対する火災予防査察の実施状況

各年１月１日～１２月３１日

（単位：件）

年　別 / 市町別	令和元年(平成31年)	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年
岩　見　沢　市	0	3,221	3,128	3,044	3,047
月　形　町	140	138	140	135	135
合　計	140	3,359	3,268	3,179	3,182

※令和元年(平成31年)岩見沢市の実施件数については、消防法改正に伴う小規模飲食店立入検査を実施したため未実施。

１．予防査察の対象

75歳以上の独居単身世帯、緊急通報システム設置世帯、身体の不自由な方の世帯等。

２．実施の方法

岩見沢市は年1回、職員及び女性消防団員（栗沢の一部地域を担当）が各戸訪問し実施。

月形町は年1回、職員及び女性消防団員が各戸訪問し実施。

３．実施の内容

火災の防止、積雪時における避難路の確保及び健康状態や非常時の連絡先等の把握。

※　聴覚障がい者世帯においては、査察時にファクシミリ・電子メールによる通報訓練を実施。

事業所等での消防訓練等の実施状況　　各年１月１日～１２月３１日

市町別	種　別	令和元(平成31)年		平成30年		平成29年	
		実施数（回）	参加数（人）	実施数（回）	参加数（人）	実施数（回）	参加数（人）
岩見沢市	消防訓練	758	28,859	976	41,423	751	35,059
	うち消防立会	472	22,841	353	19,747	467	25,465
	その他の訓練	120	8,893	190	2,362	1	44
	消防署見学	34	1,502	31	1,319	27	1,329
	消防車写生会	10	443	3	175	9	410
月形町	消防訓練	89	4,368	86	3,981	86	4,021
	うち消防立会	49	2,525	28	2,261	31	2,300
	その他の訓練	9	376	29	2,020	14	1,170
	消防署見学						
	消防車写生会						
合　計		1,020	44,441	1,315	51,280	888	42,033

１．消防訓練　　消防法施行令第3条の2第2項で定める、消火、通報及び避難の訓練
２．その他の訓練　　防火講話、ＤＶＤ視聴、スモークマシンによる煙体験
３．消防署見学　　幼稚園・保育園園児、小中学校児童、生徒による消防署の施設見学
４．消防車写生会　　小学校に出向いての写生会

防火対象物定期点検及び防災管理点検の報告状況　　平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

（単位：件）

	対象物数	適　合		不適合	未報告
		毎年報告	特例認定		
防火対象物点検報告	141	54	34	23	30
うち特定1階段	15	3		2	10
防災管理点検報告	5		2	1	2

救急救助編

月別の救急出動状況

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

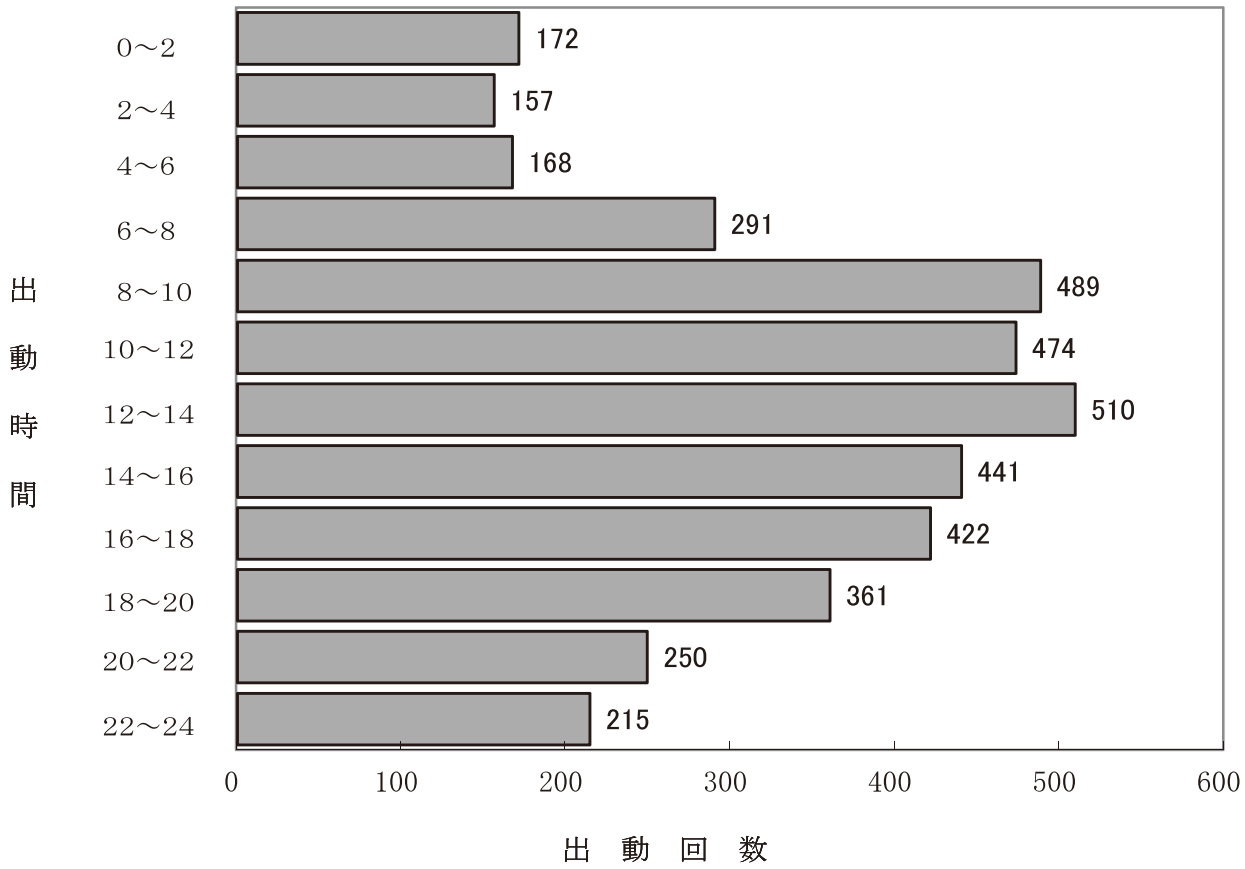
（単位：件、人）

区分＼事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	合計	不搬送
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他			
1月	出動件数	3			19	1	2	46		6	259	45			4	49	385	40
	搬送人員				14	1	2	45		2	236	45				45	345	—
2月	出動件数	1			20	1	3	39		2	197	41			21	62	325	41
	搬送人員				20	1	3	36		2	183	41				41	286	—
3月	出動件数	2			18	2	2	32		2	209	53			6	59	326	38
	搬送人員				17	2	1	28		1	189	53				53	291	—
4月	出動件数	3			8	5	2	52		4	171	47				47	292	26
	搬送人員				7	5	2	46		3	157	47				47	267	—
5月	出動件数	3			11	3	2	44	1	3	212	43			1	44	323	22
	搬送人員	1			10	3	2	43	1	2	196	43				43	301	—
6月	出動件数	1			11	2	4	35		3	211	46				46	313	25
	搬送人員				10	2	4	29		2	195	46				46	288	—
7月	出動件数	2			22	4	2	55	1	1	231	35			1	36	354	34
	搬送人員				20	4	2	53			210	35				35	324	—
8月	出動件数	2			18	5	3	39		3	235	46			3	49	354	33
	搬送人員				16	4	3	39		1	213	46				46	322	—
9月	出動件数	1			19	6		36	2	5	191	46			2	48	308	31
	搬送人員				21	6		31		2	173	46				46	279	—
10月	出動件数	2			15	4	1	43	1		219	31			3	34	319	16
	搬送人員				14	4	1	40	1		213	31				31	304	—
11月	出動件数				14	3	2	33		3	190	54			2	56	301	22
	搬送人員				12	3	2	31		3	174	54				54	279	—
12月	出動件数	5			24	2		34	1	1	221	62				62	350	27
	搬送人員				20	2		34	1	1	205	62				62	325	—
合計	出動件数	25			199	38	23	488	6	33	2,546	549			43	592	3,950	355
	搬送人員	1			181	37	22	455	3	19	2,344	549				549	3,611	—

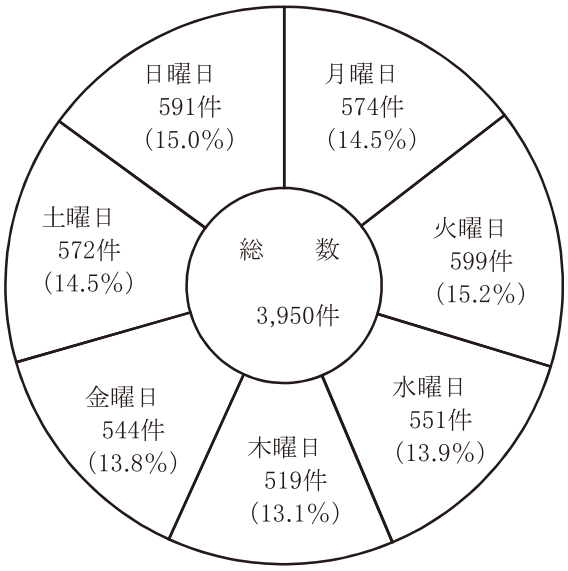
出動　1日平均　10.82 件　（2時間13分に1件）
搬送　1日平均　9.89 人

時間別救急出動件数

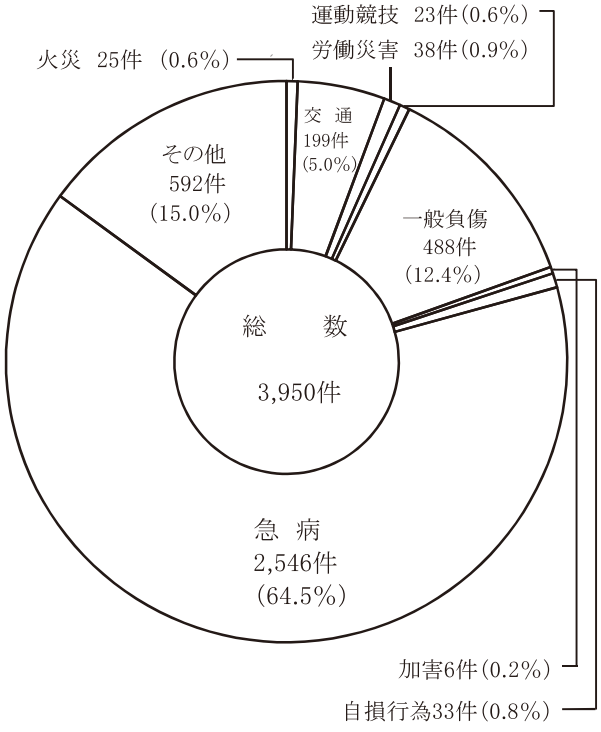
（単位：件）



曜日別救急出動件数



事故種別救急出動割合



※各表 平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

出動場所別救急出動状況

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

（単位：件、人）

出動場所別＼事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	合計	不搬送
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他			
岩見沢	出動件数	23			191	36	22	469	6	30	2,461	523			43	566	3,804	341
	搬送人員	1			174	35	21	439	3	17	2,265	523				523	3,478	-
月形	出動件数	2			5	2	1	18		3	84	26				26	141	12
	搬送人員				5	2	1	15		2	79	26				26	130	-
その他	出動件数				3			1			1						5	2
	搬送人員				2			1									3	-
合計	出動件数	25			199	38	23	488	6	33	2,546	549			43	592	3,950	355
	搬送人員	1			181	37	22	455	3	19	2,344	549				549	3,611	-

過去５年間の救急出動推移

各年１月１日～１２月３１日

（単位：件、人）

年別＼事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	合計	不搬送
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他			
平成27年	出動件数	22		2	228	22	18	488	9	43	2,275	541			39	580	3,687	314
	搬送人員	1		1	256	22	18	451	9	26	2,095	540			1	541	3,420	－
平成28年	出動件数	26		2	243	34	28	538	11	39	2,313	513	1	1	58	573	3,807	310
	搬送人員	4			245	34	27	514	7	32	2,162	512				512	3,537	－
平成29年	出動件数	27			196	20	18	519	8	27	2,390	564			43	607	3,812	315
	搬送人員	6			190	20	18	472	7	21	2,226	561			3	564	3,524	－
平成30年	出動件数	25		1	239	26	30	569	7	36	2,408	575			57	632	3,973	319
	搬送人員	2		1	240	26	32	544	7	24	2,247	571				571	3,694	－
令和元年（平成31年）	出動件数	25			199	38	23	488	6	33	2,546	549			43	592	3,950	355
	搬送人員	1			181	37	22	455	3	19	2,344	549				549	3,611	－

傷病程度別の搬送人員状況

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

（単位：人）

事故種別 / 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡				1			9		3	84		97
重症				11	14		102		8	394	217	746
中等症				22	7		59		3	595	252	938
軽症	1			147	16	22	285	3	5	1,271	80	1,830
その他												
合計	1			181	37	22	455	3	19	2,344	549	3,611

傷病程度　　初診時における医師の診断（救急業務実施基準第20条第2項の医師の所見）に基づき次により分類する。

1. 死　亡　　初診時において死亡が確認されたもの
2. 重　症　　傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
3. 中等症　　傷病程度が入院を要するもので重症に至らないもの
4. 軽　症　　傷病程度が入院加療を必要としないもの
5. その他　　医師の診断がないもの、及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

年齢区分別の搬送人員状況

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

（単位：人）

事故種別 / 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児											13	13
乳幼児				6			20			75	3	104
少年				16		11	9	1	1	46	3	87
成人				106	26	10	71	2	15	559	109	898
高齢者	1			53	11	1	355		3	1,664	421	2,509
合計	1			181	37	22	455	3	19	2,344	549	3,611

年齢区分

1. 新生児　　生後28日未満の者
2. 乳幼児　　生後28日以上満7歳未満の者
3. 少　年　　満7歳以上満18歳未満の者
4. 成　人　　満18歳以上満65歳未満の者
5. 高齢者　　満65歳以上の者

救急隊員が行った応急処置件数

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

（単位：件、人）

応急処置 / 事故種別	応急処置対象人員	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫	うち自動	心肺蘇生	うち自動	酸素吸入	保温	被覆
急病	2,338	25	53	6			91		490	54	11
交通	180	20	59				1		12	8	30
一般負傷	448	106	124				12		36	10	127
その他	622	18	43	2			5		148	10	21
合計	3,588	169	279	8			109		686	82	189

応急処置 / 事故種別	気道確保	※1	※2	※3	※4気管挿管	在宅療法継続	※A	※B	※C	ショックパンツによる血圧保持	除細動
急病	117		2	73	2	11			11		8
交通	1			1							
一般負傷	15		4	7		1			1		
その他	10			2							
合計	143		6	83	2	12			12		8

応急処置 / 事故種別	その他の応急処置	静脈路確保 CPA前	静脈路確保 CPA後	薬剤投与 アドレナリン	薬剤投与 ブドウ糖投与	血圧測定	聴診器による聴取	血中酸素飽和度の測定	心電図	血糖測定	合計
急病	7	12	26	24	8	2,199	548	2,250	921	133	6,994
交通						174	48	178	28	3	562
一般負傷		2	3	3		428	50	436	57	2	1,412
その他	1	2				606	62	616	224		1,768
合計	8	16	29	27	8	3,407	708	3,480	1,230	138	10,736

1. 止　血　　直接圧迫、止血帯、包帯等による止血処置
2. 固　定　　副子等による固定又は安静保持
3. 人工呼吸　　口対口又は器具等による人工呼吸
4. 胸骨圧迫　　胸骨圧迫心マッサージ
5. 心肺蘇生　　心肺蘇生法
6. 酸素吸入　　酸素吸入器による酸素吸入
7. 保　温　　傷病者の状況から保温を保持する必要がある場合に行う保温処置
8. 気道確保　　気道の確保のための処置並びに口腔内清拭及び吸引の処置
   - ※1　経鼻エアウェイを使用しての気道確保
   - ※2　喉頭鏡・マギール鉗子等による異物除去
   - ※3　救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリンゲアルマスク等を使用しての気道確保
   - ※4　救急救命士法に基づき気道確保のための処置で救急救命士が行った気管挿管処置
9. 被　覆　　創傷をガーゼ等で被覆する創面保護
10. 在宅療法継続　在宅療法継続中の傷病者に対しその療法維持のために行った必要な処置及び在宅療法に異常があった場合に行った応急処置
    - ※A　在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの
    - ※B　気管切開孔又は気管瘻、人工肛門等の外瘻処置が施されているもの
    - ※C　※A、※B以外の処置が施されているもの
11. ショックパンツによる血圧保持　ショックパンツを使用した血圧保持の処置
12. 除細動　　重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、自動体外式除細動器（AED含む）による除細動
13. 静脈路確保　　CPA前～救急救命士法に基づき心肺機能停止前に行う静脈路確保のための輸液
    CPA後～救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、薬剤を用いた静脈路確保のための輸液
14. その他の応急処置　　1から13以外の応急処置
15. 血圧測定　　血圧計を使用しての血圧測定
16. 聴診器による心音・呼吸音等の聴取　　聴診器を使用しての心音・呼吸音等の聴取
17. 血中酸素飽和度の測定　　血中酸素飽和度測定器を使用しての血中酸素飽和度の測定
18. 心電図　　心電計を使用しての心電図の測定
19. 薬剤投与　　救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、アドレナリンの投与
20. ブドウ糖投与　　低血糖傷病者へのブドウ糖溶液の投与
21. 血糖測定　　救急救命士法に基づき救急救命士が行なった血糖測定

急病にかかる疾病分類別搬送人員の状況　　平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

分類項目別	循環系		消化器系	呼吸器系	精神系	感覚器系	泌尿器系	新生物	その他	症微診不	合　計
	脳疾患	心疾患等									
搬送人員（人）	200	258	194	287	122	126	102	61	431	563	2,344
構成比（%）	8.5	11.0	8.3	12.2	5.2	5.4	4.4	2.6	18.4	24.0	100.0

1. 急病に係る疾病分類とは、事故種別の急病については初診時における医師の診断に基づく傷病名をWHO（世界保健機関）で定める国際疾病分類（ICD）により分類したものである。

2.「脳疾患」とは、脳血管疾患をいう。

3.「新生物」とは、胃の悪性新生物、白血病等その他の悪性新生物及びその他の新生物をいう。

4.「症微診不」（症状・微候・診断名不明確の状態）とは、腹痛、頭痛、失神、めまい等の疾病をいう。

5.「その他」とは、上記の循環系から新生物までに分類された以外の疾病分類の全てである。

救助事故種別出動件数

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

（単位：件）

事故種別／件数区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
	建物	建物以外									
岩見沢市	1		22			2	19	2		35	81
月形町			3			1	1				5
その他の市町村			1								1
合計	1		26			3	20	2		35	87

救助活動件数・救出人員数調

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

（単位：件、人）

事故種別／件数区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
	建物	建物以外									
活動件数	1		18			2	13	2		6	42
救出人員	1		20			2	13	2		6	44

１．火災とは、火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。

２．交通事故とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

３．水難事故とは、水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。

４．風水害等自然災害事故とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

５．機械による事故とは、エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

６．建物等による事故とは、建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

７．ガス及び酸欠事故とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。

８．破裂事故とは、火災現場において直接火災に起因して生じた事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。

９．その他の事故とは、上記に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。

救急講習会の実施状況　　各年１月１日～１２月３１日

区分＼年別		令和元(平成31)年	平成30年	平成29年
一般講習	回数	60 回	60 回	40 回
	受講者数	2,012 人	1,808 人	1,190 人
普通救命講習	回数	54 回	69 回	44 回
	受講者数	906 人	1,239 人	725 人
普及員講習	回数	回	回	回
	受講者数	人	人	人
合計	回数	114 回	129 回	84 回
	受講者数	2,918 人	3,047 人	1,915 人

１.一般講習　　応急手当等の基礎的な知識を習得させる講習。
２.普通救命講習　　ＡＥＤを含めある程度専門的な技術を習得させる講習で、受講者には「修了証」を交付。
３.普及員講習　　事業所、団体、地域等で応急手当の指導・普及に当たるものを養成する講習。

□救急業務の高度化の流れ

▽平成15年4月　…　「救急救命士法」の改正→「指示なし除細動」の実施が可能となる。
平成16年5月　…　救急救命士による”包括的指示下”での「除細動実施」の運用開始。
平成16年7月　…　医師の指示を受けて救急救命士による「気管挿管」の実施が可能となる。
市民の「AED(自動体外式除細動器)」の使用が可能となる。
平成17年5月　…　市民に対して「AED講習」の開始。
平成18年4月　…　医師の指示を受けて救急救命士による「薬剤投与」の実施が可能となる。
平成21年3月　…　「エピペン(自己注射が可能なエピネフリン製剤　別名アドレナリン)」の投与が可能となる。
平成23年8月　…　「ビデオ硬性挿管用喉頭鏡による気管挿管」の実施が可能となる。
平成26年4月　…　「心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液」の実施が可能となる。
「血糖測定」並びに「低血糖発作症例に対するブドウ糖溶液の投与」が可能となる。

通 信 編

消防無線のデジタル化運用について

平成１５年１０月	総務省令「電波法関係審査基準」の一部改正 消防救急無線は「平成28年5月31日までに」デジタル化しなければならない。 （※→平成23年6月1日以降の免許更新は許可されない。）
平成１７年　７月	消防庁次長通知「消防救急無線の広域化・共同化及び共同運用の推進について」 ・基本的には都道府県を一つのブロックとして整備。 ・指令センターは都道府県単位が望ましい。 ・前記に基づき、都道府県は市町村や消防本部との協議のうえ平成18年度までに「整備計画」を策定すること。
平成１８年　５月	「北海道消防救急無線広域化等策定委員会・協議会」を設置 北海道における「整備計画」を平成19年度末までに策定予定で設置。
平成１９年　１月	北海道の「整備計画」（案）における道内の区域割りの提案 ※道内を7ブロック化（岩見沢は札幌を含む石狩・空知・後志支庁管内で構成。）
平成２０年　５月	総務省告示第291号 アナログの使用期限については電波法関係審査基準により平成28年5月31日までと規定されていたが、共通仕様書が策定されるなどデジタル化の整備環境が整ってきたこと等から、法律（電波法第26条）に基づき、周波数割当計画（告示）を改正し、アナログの使用期限を正式に平成28年5月31日までと規程。
平成２０年　７月	「北海道消防救急無線広域化・共用化及び消防指令業務の共同運用に係る整備計画」の策定
平成２１年　８月	「北海道消防救急無線広域化・共用化及び消防指令業務の共同運用に係る整備計画」の見直し
平成２２年　３月	通信指令室指令装置の更新 運用開始（指令装置費用26,000千円） ※機能…デジタル化対応、消防広域対応、地図検索装置整備 地図検索装置概略 ※119番入電時通報者の位置が、モニター地図画面に表示される装置 （ゼンリン地図上にＮＴＴデータを利用し表示） ※表示的中率は、おおむね・・・ ・一般加入電話～9割以上 ・携帯電話～ＧＰＳ機能付～数メートル以内 ・携帯電話～ＧＰＳ機能無～数十キロ以内
平成２２年　４月	通信規程の運用について 警防規程運用開始 ※平成18年3月15日施行の通信規程を、警防規程運用に伴い、市町村合併後の問題点、消防広域化、当組合月形町通信一元化を総合的に検討した結果、通信規程の全部を改正し、平成22年11月1日より運用している。
平成２２年　５月	「道央地区消防救急無線共同整備等実施計画」の策定
平成２２年　８月	空知ブロック消防救急デジタル無線整備費用低減化検討会議設置
平成２２年　９月	南空知第1回ワーキンググループ会議
平成２２年１１月	南空知第1回ワーキンググループ会議 （道危機対策課、空知総合振興局、消防）
平成２３年　７月	南空知第1回ワーキンググループ担当者会議 （道危機対策課、空知総合振興局、市町村財務担当者、消防）
平成２４年　３月	空知ブロック消防救急デジタル無線整備費用低減化検討会議

平成２４年１０月	通信業務の一元化業務開始 当組合月形町との通信一元化により既に実施している緊急通報システムの受報業務の他に119番受報業務、災害出動等指令業務を、平成24年10月1日より実施している。
平成２５年　４月	消防救急デジタル無線整備に係る実施計画委託業務着手
平成２６年　１月	実施計画委託業務成果品受領
平成２８年　４月	消防救急デジタル無線整備運用開始
平成２９年　９月	高機能消防指令センター運用開始（整備費用291,600千円） ※通信指令システム概要 消防救急デジタル無線設備との接続連携また、出動車両運用管理装置と連動し、的確な出動指令と効率的な事案活動を行うための各種支援情報を提供し消防力の最大発揮を図ることができる高機能化したシステム。 ※装置概要 指令台…下記装置と連動・連携し、通報受付、出動指令、無線交信等総合的に消防通信を行う装置。 ・自動出動指定装置～出動指令、出動隊編成等システムの自動化機能を制御する装置。 ・地図等検索装置～災害発生場所の地図等の検索が容易にかつ迅速にできるようにする装置。 ・支援情報表示装置～指令管制業務に必要な各種情報を上記二つの装置と連携し有効に表示することができる装置。 ・出動車両運用管理装置～管理装置（親局装置）及び車両設置の車両運用端末装置（ＡＶＭ）から構成され、車両動態・車両位置情報等を伝送し自動出動指定装置等に反映させるもの。

メール１１９登録状況

各年１２月３１日現在

（単位：人）

年別 / 市町別	令和元年	平成30年	平成29年
岩見沢市	9	9	8
月形町			
合　　計	9	9	8

１１９番受報数の現況

平成３１年１月１日～令和元年１２月３１日

（単位：件）

種別＼市町別	岩見沢市	月形町	合　計
火　災	30	1	31
うち携帯	13	1	14
救　急	2,960	62	3,022
うち携帯	1,140	15	1,155
救　助	46	1	47
うち携帯	24	1	25
警　戒	56	1	57
うち携帯	26	1	27
その他	139	5	144
うち携帯	74	3	77
合　計	3,231	70	3,301
うち携帯	1,277	21	1,298
【平成30年】	3,118	97	3,215
うち携帯	1,160	26	1,186
出動に該当しない受信			1,235
試験、通報			768
問合せ			232
間違い、悪戯、無言			235

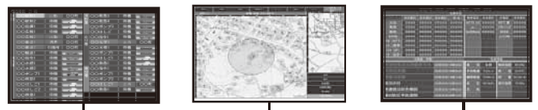
※加入電話・駆け付け・消防無線・緊急通報システム等の通報は除く。

緊急通報システムの設置状況

緊急通報システムは令和元年１２月２７日(金)運用を停止し、設置者の一部は民間運営のシステムへ移行しました。

消防通信指令システム系統図

表示盤
（車両運用表示盤、多目的情報表示盤、支援情報表示盤）



シャッター監視カメラ
庁舎周囲監視カメラ



映像制御装置



指令台①
- 自動出動指定装置
- 地図等検索装置
- 支援情報表示装置



指令台②
- 自動出動指定装置
- 地図等検索装置
- 支援情報表示装置

無線統制台
- 卓上型可搬無線装置
- 遠隔サイレン吹鳴親機
- 山頂基地局遠隔制御装置



経路検索サーバ　予備サーバ　データ系サーバ　制御系サーバ

各種気象センサー
- 風向風速
- 気温・湿度・気圧
- 雨量
- GPS時計





カラープリンタ



モノクロプリンタ

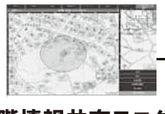


気象情報収集装置

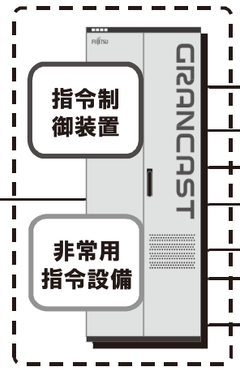
スキャナ



データ修正装置



各階情報共有モニター



デジタル無線システム
- 多重無線回線
- 119番回線
- 携帯119番回線
- 携帯119番転送及び転送受付回線
- 専用線
- 局線
- 加入回線



多言語通訳サービス



電話交換装置



FAX119
受信装置



災害状況等自動案内装置

加入回線



音声合成装置



順次指令装置

加入回線



位置情報通知装置（統合型）



ルータ

IP−VPN網



出動車両運用管理装置
（管理装置）



ルータ

NTT-DOCOMO
FOMA網



長時間録音装置

出動準備室



指令電送装置
（指令情報送信装置）

Eメール指令





指令電送装置
（指令情報出力装置）



映像伝送装置



メール119受信装置



Net119受信装置



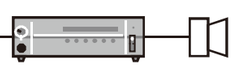
Em-net



岩見沢市イントラネット



署所端末装置



放送装置



電話交換装置



システム監視装置



無停電電源装置
（100V系）

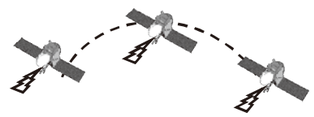


直流電源装置
（48V系）

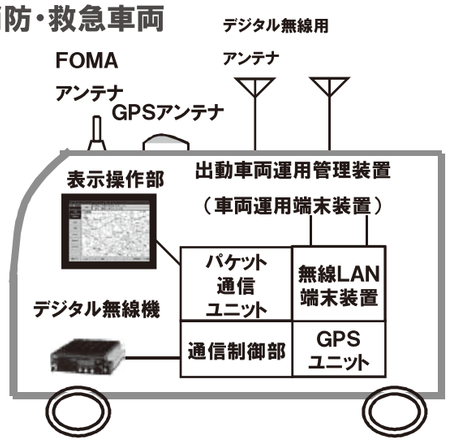
岩見沢市イントラネット



山頂無線基地局



■消防・救急車両



■災害現場





映像伝送装置
（送信側端末）

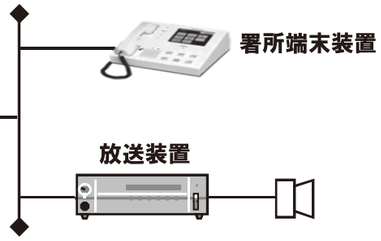


インターネット



■支署・出張所・分遣所

音声専用線



緊急通報システム受信状況

平成３１年１月１日～令和元年１２月２７日
（単位：件）

		合　計		災害種別					その他		
				小　計		火災	救急	警戒	故障	異常なし	テスト
		令和元年（平成31年）	平成30年	令和元年（平成31年）	平成30年						
岩見沢市	1月	14	8	4	2		3	1		7	3
	2月	4	5		3					4	
	3月	10	10	3	5		3		1	5	1
	4月	11	5	4	2		3	1		6	1
	5月	12	15	2	1		2			10	
	6月	8	12	5	1		5			3	
	7月	10	13	3	4		3			7	
	8月	13	18		4					13	
	9月	16	174	4	1		3	1		10	2
	10月	10	10		3					10	
	11月	4	9							4	
	12月	1	3							1	
	累計	113	282	25	26		22	3	1	80	7
月形町	1月	2	3	1			1			1	
	2月		2		1						
	3月	3	1	2			2			1	
	4月	1	2		1					1	
	5月		3		1						
	6月	1	4		1					1	
	7月		4		1						
	8月	1	3		1					1	
	9月	4	31	1				1		1	2
	10月		2								
	11月		6								
	12月		3								
	累計	12	64	4	6		3	1		6	2
合計	1月	16	11	5	2		4	1		8	3
	2月	4	7		4					4	
	3月	13	11	5	5		5		1	6	1
	4月	12	7	4	3		3	1		7	1
	5月	12	18	2	2		2			10	
	6月	9	16	5	2		5			4	
	7月	10	17	3	5		3			7	
	8月	14	21		5					14	
	9月	20	205	5	1		3	2		11	4
	10月	10	12		3					10	
	11月	4	15							4	
	12月	1	6							1	
	累計	125	346	29	32		25	4	1	86	9

※　電池切れは異常なしに含む。

消防年報 2020

令和2年10月

編集・発刊
岩見沢地区消防事務組合消防本部
http://iwamizawa119.jp

消防本部・岩見沢消防署
〒068-0008　北海道岩見沢市8条東10丁目2番地47

消防本部	総　務　課	TEL　0126-22-4300
		FAX　0126-25-1048
〃	警　防　課	TEL　0126-22-4302
〃	予　防　課	TEL　0126-22-4301
岩見沢署	消　防　課	TEL　0126-22-4380
		FAX　0126-22-7446
〃	通信救急課	TEL　0126-22-7445
		FAX　0126-23-2704

栗沢支署
〒068-0123　北海道岩見沢市栗沢町東本町19番地
TEL　0126-45-2009
FAX　0126-45-2839

北 支 署
〒068-1213　北海道岩見沢市北村赤川586番地2
TEL　0126-56-2007
FAX　0126-56-2107

月形支署
〒061-0500　北海道樺戸郡月形町1047番地13
TEL　0126-53-2154
FAX　0126-53-2396
http://www.town.tsukigata.hokkaido.jp/2633.htm

